



## **SPORTS TOWN 聖籠**

聖 籠 町

# 第2次 生涯スポーツ

*Promotion Plan for Lifelong Sports in Seiro*

# 推進計画

平成28年度～平成37年度



聖籠町教育委員会

# 生涯スポーツ推進の充実を期して



聖籠町教育委員会 教育長

伊藤 順治

本町が「生涯スポーツ振興計画(第1次)」を策定すると同時に、「芸術・スポーツ文化のまち」宣言をして10年目を迎えます。

この第1次計画の目標値を、「週1回以上スポーツをする町民の割合を50%にする」と掲げ、「NPO法人スポネットせいろう」を設立するとともに、関係団体や町民の皆様のご理解とご支援によりスポーツ振興に取り組んできました。しかし、残念ながら、現状は28.8%にとどまっております。

このたび、これまでににおける本町10年間のスポーツ振興状況を検証し、更なるスポーツ振興を目指すために、「聖籠町第2次生涯スポーツ推進計画(平成28年度～平成37年度)」を策定いたしました。

本計画では、スポーツの果たす役割と意義を、「心身の健康」、「自立と人間形成」、「地域コミュニティの形成」、「健康寿命の延伸」、「心のつながり」、「世界共通の文化」の六つに整理いたしました。そして、「障がいの有無に関わらず、スポーツ活動に参加できる共生社会を築く」、「町民の絆を強めるコミュニティをつくる」、「高齢者が元気に年をとる」などに着目して策定したものです。

このようなことから、競技として勝敗や記録を主な目的とするチャンピオンスポーツと、楽しむことや体を動かすことを主な目的とするレクリエーションスポーツの観点から、「スポーツに満ちたまち 明るく豊かなまち」づくりを目指して、次の4つの基本方針から計画の推進を図ります。

- 1 するスポーツ(生涯にわたるスポーツ活動の推進)
- 2 競うスポーツ(競技力の向上の推進)
- 3 支えるスポーツ(スポーツを支える環境の整備)
- 4 みるスポーツ(みる機会、交流機会の拡大)

総合目標値は、「町民(成人)の週1回以上スポーツをする人を65.0%」と設定いたしました。

今後の本町のスポーツ推進とスポーツ文化の充実・発展のために、「NPO法人スポネットせいろう」や関係団体のご協力と町民の皆様の温かいご理解とご協力をお願いいたします。

この計画策定に当たり、町民アンケートなどにご協力いただいたことと策定委員各位の熱意とご苦勞に感謝申し上げます。

平成28年3月

# 「Sports Town 聖籠」

## 目次

### 第1章 基本構想

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 第1節 計画策定の趣旨             | 1  |
| 第2節 計画の位置付け             | 2  |
| 第3節 基本理念                | 3  |
| 第4節 基本方針                | 4  |
| 第5節 スポーツの果たす役割と意義       | 5  |
| 第6節 到達目標                | 6  |
| 第7節 計画の期間               | 6  |
| 第8節 町の生涯スポーツ推進体系図       | 7  |
| 第9節 生涯スポーツを取り巻く状況       | 8  |
| 1 人口の状況                 | 8  |
| 2 東京オリンピック・パラリンピック開催を機に | 10 |
| 3 スポーツ施設の状況             | 11 |
| 4 アンケート調査の概要            | 12 |

### 第2章 基本計画

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 第1節 生涯各期のスポーツ体系              | 14 |
| 第2節 するスポーツ                   | 24 |
| 1 子どものスポーツ推進                 | 25 |
| 2 気軽にできるスポーツ推進               | 27 |
| 3 親子で楽しめるスポーツ推進              | 29 |
| 4 高齢者のスポーツ推進                 | 30 |
| 5 障がい者のスポーツ推進                | 32 |
| 第3節 競う（競技）スポーツ               | 34 |
| 1 ジュニアからトップアスリートまでの競技力向上への支援 | 35 |
| 2 指導者の育成、資質向上の取り組み           | 36 |
| 3 障がい者の競技スポーツ推進              | 38 |

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 第4節 支えるスポーツ             | 39 |
| ・支えるスポーツのイメージ図          | 40 |
| 1 総合型地域スポーツクラブの充実に対する支援 | 41 |
| 2 スポーツボランティアの育成         | 43 |
| 3 スポーツ施設の整備・充実          | 44 |
| 4 スポーツ情報の提供             | 45 |
| 5 フィジカルフィットネスサポートの充実    | 46 |
| 6 民間組織との連携              | 48 |
| 7 行政組織・機関の整備            | 49 |

|            |    |
|------------|----|
| 第5節 みるスポーツ | 50 |
|------------|----|

### 資料編

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 1 これまでの取り組み                 | 53 |
| (1) するスポーツ                  | 53 |
| (2) 支えるスポーツ                 | 56 |
| (3) みるスポーツ                  | 61 |
| 2 目標の達成状況と課題                | 62 |
| (1) 町民のスポーツの実施状況            | 62 |
| (2) スポーツの実施率向上に向けて          | 63 |
| 3 スポーツに関する調査結果              | 66 |
| (1) 町民の意識調査結果の概要            | 66 |
| (2) 聖籠町立小・中学校の新体力テスト結果      | 72 |
| 4 聖籠町生涯スポーツ推進計画策定組織と経過      | 74 |
| (1) 生涯スポーツ推進計画策定委員会         | 74 |
| (2) 会議経過                    | 75 |
| 5 その他                       | 75 |
| (1) 聖籠町体育施設一覧表              | 75 |
| (2) 聖籠町加盟団体・サークル・スポーツ少年団一覧表 | 76 |

---

# 第 1 章 基本構想

---



# 生涯スポーツでまちづくり!



## 【Sports Town 聖籠】

平成18年度に策定した聖籠町生涯スポーツ振興計画は、「だれでもが」「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに親しみ、明るく豊かな生活の実現のため、スポーツの町聖籠をイメージして、「Sports Town 聖籠」と表現しました。

今回の計画にあたっては、スポーツを「する」「競う（競技）」「支える」「みる」を柱とし、「Sports Town 聖籠」（第1次プラン）を基本として、新たな視点を設けながら修正し、計画しました。

## 【生涯スポーツとは】

平均寿命の延伸や余暇時間の増大、所得水準の向上や生活意識の多様化から、スポーツの大衆化は進み、老若男女、だれでもスポーツに親しみを求め、健康づくりや社交の場として行うことが広く普及され実践されています。

本計画では、一人一人のライフスタイルや年齢、性別、体力・運動能力、健康状態、興味等に応じて、「だれでもが生涯を通じて、いつでも、どこでも、いつまでも気軽に親しみ、楽しむスポーツ」を生涯スポーツととらえています。

## 【生涯スポーツ推進計画での「スポーツ」の範囲】

日本では「スポーツ＝体を動かす行為」というイメージが定着していますが、競技スポーツだけでなく、散歩やレクリエーション、野外活動も含めた身体的活動全般、さらにはスポーツを観戦したり、スポーツをボランティア活動として支えたりすることなど、スポーツの範囲を幅広くとらえています。

## 第1節 計画策定の趣旨

聖籠町は、平成18年度から、成人の週1回以上のスポーツ実施率50%以上を目標とする「聖籠町生涯スポーツ振興計画」を制定しました。そこでは、町民の誰もがスポーツに親しみ、楽しむことができる「Sports Town 聖籠」をスローガンとして、明るく豊かな生活の実現を基本理念とした、各種施策を推進してきました。

平成23年6月、50年ぶりに全面改正されたスポーツ基本法は、「スポーツは世界共通の人類の文化」とし、同法に基づいたスポーツ基本計画（平成24年3月制定）では、「スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会の創出」を目指すことを宣言しました。

また、平成25年9月には、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しました。このことを視野に入れた競技力向上、スポーツを通じた地域活性化や交流人口の拡大を図ることのできる格好の機会が訪れています。

一方、前回計画策定時において顕著であった、少子高齢化や情報化などは、さらに進行し、地域社会の空洞化や人間関係の希薄化が進んでいます。

町民の明るく豊かな生活を実現するには、生涯にわたりスポーツに親しみ、楽しむことができる豊かな生涯スポーツ社会の実現が課題になっています。

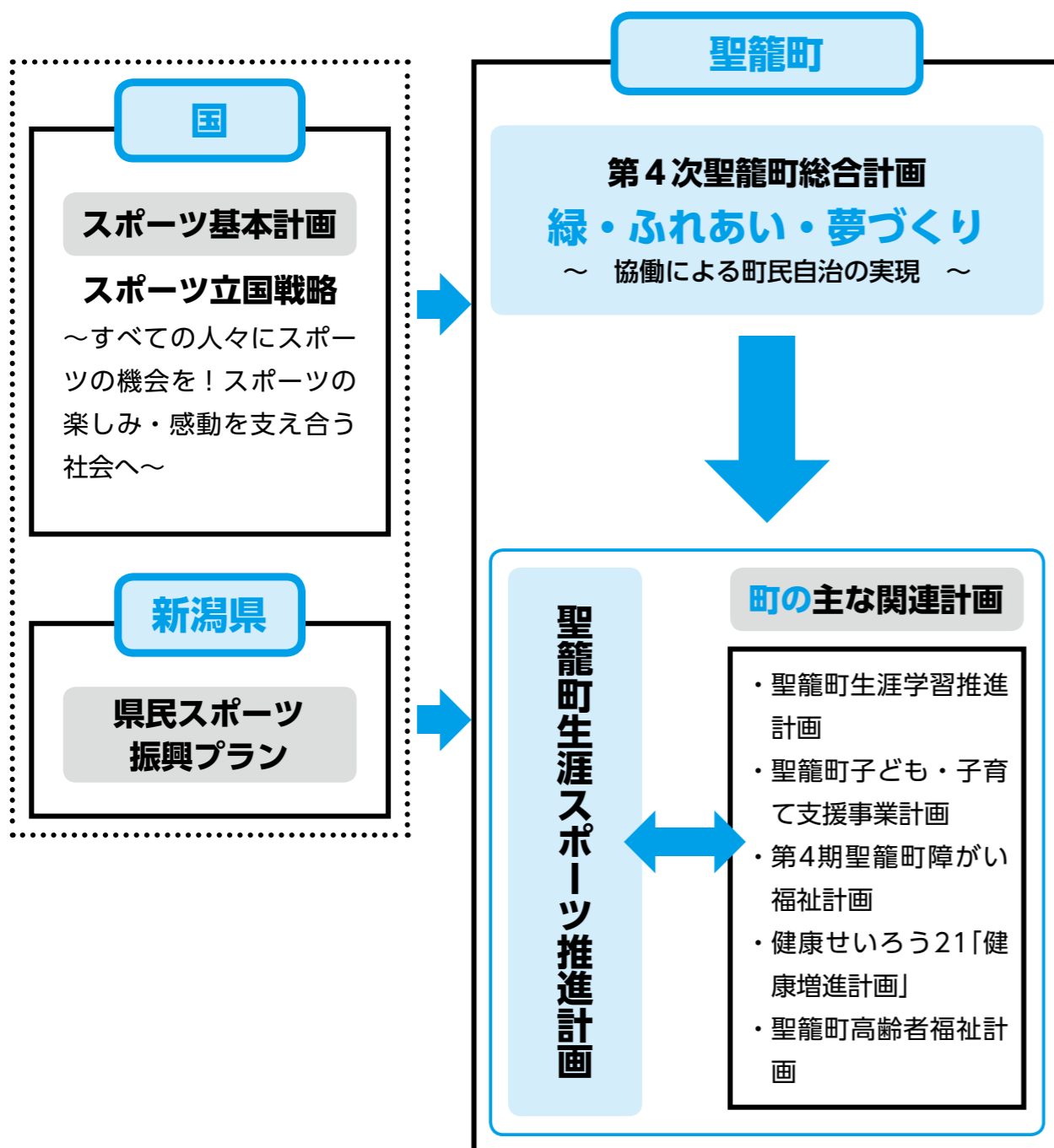
こうした中で多様化した課題や住民のニーズに対応するため、平成18年度からの「聖籠町生涯スポーツ振興計画」の検証を踏まえ、①ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 ②世界のトップレベル選手の育成 ③障がい者スポーツの推進の充実 の3つの観点などから「聖籠町第2次生涯スポーツ推進計画」（平成28年度～平成37年度）を策定しました。



## 第2節 計画の位置付け

(1) 本計画は、聖籠町のスポーツ推進に関する基本的な計画であり、「緑・ふれあい・夢づくりビジョン」(第4次聖籠町総合計画・平成23年度～平成32年度)に体系づけられるものです。

(2) この計画は、国が平成23年に施行した「スポーツ基本法」に基づき、地方スポーツ推進計画として策定するものです。また、同年度に国が策定した「スポーツ基本計画」の方向性を参考にしています。



## 第3節 基本理念

健康は、かけがえのない財産であり、幸せの礎となるものです。そして、それは町の活力の源です。

本町は、魅力あるまちづくりの実現を目指し、聖籠町まちづくり基本条例に定める町づくりの基本理念に基づき「芸術・スポーツ文化のまち」を宣言しました。

### 芸術・スポーツ文化のまち宣言

#### 一 生涯にわたり

健康への関心を持ち、スポーツやレクリエーションを通じて健康づくりや体力づくりに努めます。

#### 一 あらゆる場で

さまざまな文化に親しみ、郷土の歴史と伝統をいかした個性豊かな町民文化を創り出し、次代へ伝えます。

#### 一 すべての人が

芸術やスポーツそしてレクリエーション活動を通じて人と人との交流を深め、思いやりある、いきいきとした地域の輪を広げます。



平成19年3月12日宣言

スポーツは体を動かすことによって、身体の健康を保ち、爽快感、達成感、精神的充足感や楽しさ、喜びをもたらします。上記の宣言を受け、町民の興味・関心、適正等に応じて現状よりさらに多くの町民が様々な形態(する、競う、支える、みる)でスポーツに親しむ環境の構築を実現することを目指し、聖籠町生涯スポーツ推進計画の基本理念を次のように掲げます。

#### 聖籠町生涯スポーツ推進計画基本理念

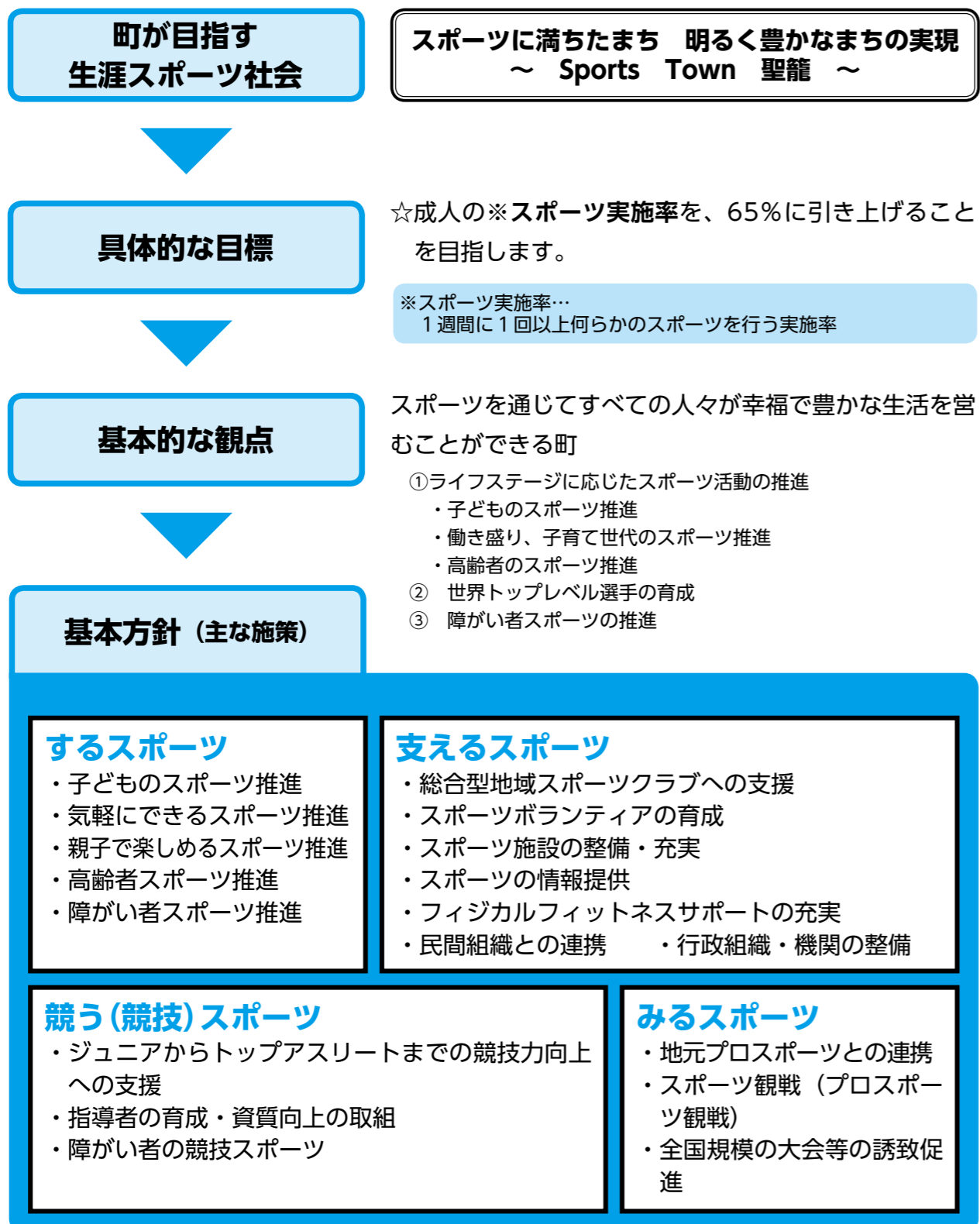
「スポーツに満ちたまち 明るく豊かなまち」の実現を目指します

～ Sports Town 聖籠 ～



## 第4節 基本方針

本計画を着実に実現するため、4つの基本方針に基づいて、施策を推進します。また、それぞれの分野にまたがる「社会教育課の計画」「福祉関係の計画」「スポネットせいらう（総合型地域スポーツクラブ）の計画」等との整合を図り、充実させます。



## 第5節 スポーツの果たす役割と意義

スポーツは、楽しみを求めたり、勝敗を競ったりする目的で行われる身体活動です。それによって、心身の両面にわたって次のような役割や意義が期待されています。

- (1) **心身の健康**  
体力の向上や健康維持、精神的充実感や楽しさ、喜びをもたらすと共に生活の質の向上や自己実現を図るなど、心の豊かさと生きがいをもたらします。
- (2) **自立と人間形成**  
スポーツは自己責任やフェアプレイの精神を培い、コミュニケーション能力の育成や思いやりの心を養うなど、青年期の人間形成に大きく寄与します。
- (3) **地域コミュニティの形成**  
スポーツ大会やイベント等を通じて交流を深め、協働の意識を促します。また、一つの目標に向かい、共に努力し達成感や満足感を味わうことで、地域や家族における連帯感が深まり、地域に活力が育まれます。
- (4) **健康寿命の延伸**  
高齢化社会に対応し、高齢者が元気で健康に年を取ることを意味するサクセスフルエイジング※注（老化予防）の手段として期待されます。
- (5) **スポーツが生み出す心のつながり**  
情報化がすすむ社会では、人と人が直接触れ合う機会が減少すると、対面によるコミュニケーションの不足や人間関係の希薄化が懸念されます。このような時代だからこそ、スポーツ活動は心と身体が触れ合う場として期待されます。
- (6) **スポーツは世界共通の文化**  
ことばや文化、生活習慣などの違いを超え、スポーツを通して価値観の異なる人々との相互理解を深めながら国際的な友好を深めることができます。

※注）サクセスフルエイジングとは、年齢とともに老いていくことを認識しつつ、これを受け入れながら社会生活にうまく適応して、豊かな老後を迎えていること。



## 第6節 到達目標

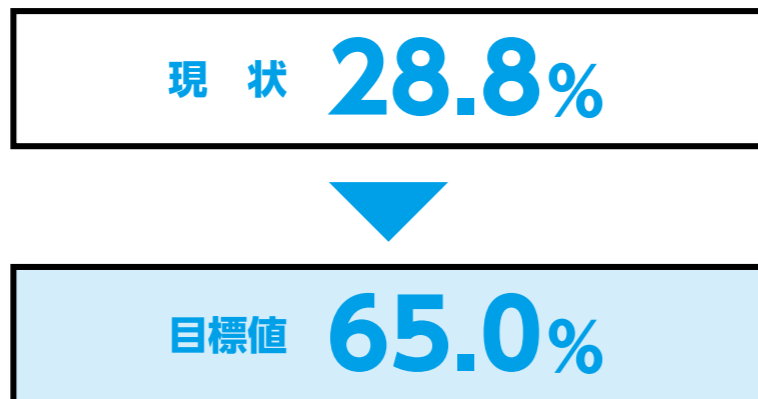
平成18年度に策定した到達目標は、町民（成人）の週1回以上のスポーツ実施率を、当時の国のスポーツ振興計画の目標値である50%としてきました。

平成27年度に本町が実施した「スポーツに関するニーズ調査」においてのスポーツ実施率は、小・中学生が85.7%と高い水準にありますが、成人になると、前回の策定時（平成17年 26.5%）より、2.3ポイントの上昇にとどまっている現状です。

子どもから大人まで、ライフステージに合わせて気軽にスポーツを親しめる環境を整え、大会や教室、イベントの開催による機会の創出など様々な方策により、スポーツ実施率の向上を図る必要があります。

今後は、国の定めた目標値の65%（成人の3人に2人が週1回以上）を目標とします。

### 成人の週1回以上スポーツする人の割合



## 第7節 計画期間

この計画期間は、平成28年度から平成37年度までの10年間とします。また、計画の進捗状況、国や本町の政策の動向により見直します。さらに、町民のニーズや社会の変化に応じて柔軟に対応するものとします。

|                           |      |      |      |    |                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------------------|------|------|------|----|---------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 2011                      | 2016 | 2020 | 2025 |    |                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 23                        | 24   | 25   | 26   | 27 | 28                              | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 |
| 第4次聖籠町総合計画（平成23年度～平成32年度） |      |      |      |    |                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|                           |      |      |      |    | 聖籠町第2次生涯スポーツ推進計画（平成28年度～平成37年度） |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

## 第8節 町の生涯スポーツ推進体系図

| 基本理念  | 基本方針                                   | 推進項目                         |
|---|--|------------------------------|
| 「スポーツに満ちたまち」<br>「明るく豊かなまち」の実現を目指します<br>スポーツタウン 聖籠 | <b>1 するスポーツ</b><br>・生涯にわたるスポーツ活動を推進します | 1 子どものスポーツ推進                 |
|   |  | 2 気軽にできるスポーツ推進               |
|   |  | 3 親子で楽しめるスポーツ推進              |
|   |  | 4 高齢者のスポーツ推進                 |
|   |  | 5 障がい者のスポーツ推進                |
|   | <b>2 競う(競技)スポーツ</b><br>・競技力の向上を推進します   | 1 ジュニアからトップアスリートまでの競技力向上への支援 |
|   |  | 2 指導者の育成、資質向上の取組             |
|   |  | 3 障がい者の競技スポーツ推進              |
|   | <b>3 支えるスポーツ</b><br>・スポーツを支える環境を整備します  | 1 総合型地域スポーツクラブの充実への支援        |
|   |  | 2 スポーツボランティアの育成              |
|   |  | 3 スポーツ施設の整備・充実               |
|   |  | 4 スポーツの情報提供                  |
| 5 フィジカルフィットネスサポートの充実                              |  |                              |
| 6 民間組織との連携  |  |                              |
| 7 行政組織・機関の整備                                      |  |                              |
| <b>4 みるスポーツ</b><br>・みる機会、交流機会の拡大を図ります             | 1 全国規模の大会等の誘致                          |                              |
|   | 2 地元プロスポーツチームとの連携                      |                              |
|   | 3 みるスポーツの環境整備（プロスポーツ観戦）                |                              |



## 第9節 生涯スポーツを取り巻く状況

### 1 人口の状況

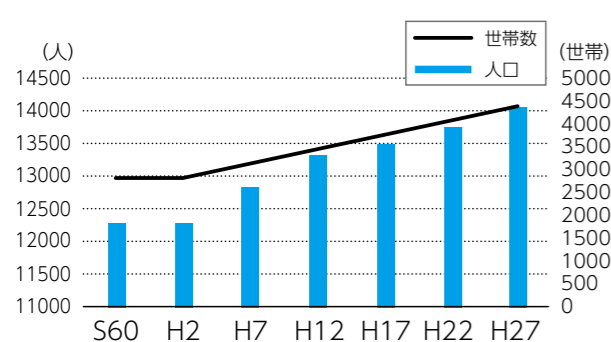
#### (1) 取り巻く状況

減少を続けている日本の人口は、平成60年には1億人を割り、高齢化率（65歳以上の人口の総人口に対する割合）は、現在の26.1%（4人に1人）から平成72年には39.9%（2.5人に1人）が65歳以上という、世界のどの国も経験したことのない超高齢社会<sup>※注</sup>が訪れます。

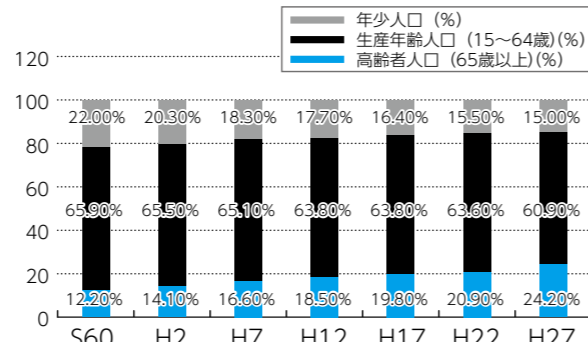
本町の人口は、平成27年国勢調査速報値によると、14,066人となっています。人口の推移をみると、昭和60年以降増加しており、平成22年度比の2.5%増は県内で聖籠町だけです。

一方、世帯数については、平成27年は4,312世帯で、平成17年と比べ約14.7%の増となっています。人口の増加率が世帯数の増加率と比べ小幅であり、1世帯あたりの人員が3.26人でやや減少していることから、核家族化が進行しているともいえます。年齢階層別割合では、平成22年国勢調査との比較でみると、年少人口割合は、0.5%減少しているのに対し、高齢者人口割合は、3.3%増加し24.2%となっています。着実に少子高齢化の波が押し寄せているといえます。そのため、増加する高齢者が生き生きと活動できるような推進計画のあり方を検討するほか、子どもが健やかにのびのびと成長できる環境の充実等積極的な取組が求められています。

聖籠町の人口と世帯数の推移

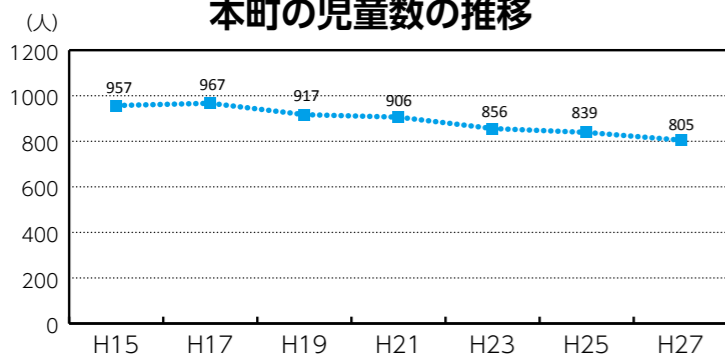


本町の年齢階層別割合



(国勢調査 平成 27 は速報値各年次 10月1日現在)

本町の児童数の推移



※注) 65歳以上の人口の割合が7%超で「高齢化社会」、14%超で「高齢社会」、21%超で「超高齢社会」とされています。

・児童数においては、10年前の平成17年をピークに150人以上児童数が減少しています。

#### (2) 課題解決のための方向性

少子高齢化に対応し、子どもや働き盛り、子育て世代、そして高齢者までが生涯にわたって心身ともに元気に、健康寿命を伸ばしていける取組を進めます。そのためには、子どものスポーツ機会の充実やライフステージに応じたスポーツ活動の推進を図り、住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備を行います。

#### 【重点項目】

- 1 子どものスポーツ推進
- 2 働き盛り、子育て世代のスポーツ推進
- 3 高齢者のスポーツ推進
- 4 障がい者のスポーツ推進



### 生涯にわたり健やかで幸せに暮らせるまちづくり

- 少子高齢化が進んでも持続可能な先進型の「まち」づくり

<どんなことをしていくの?>

#### 【歩く、身体を動かす取組】

- 多くの町民の皆さんから参加いただける健康・食育のイベントや教室の開催
  - ・健康づくり支援事業…保健福祉課・社会福祉協議会、スポネットせいらうの事業
  - ・ウォーキングイベント…子ども主体（社会教育課）、子どもから大人（保健福祉課）
  - ・健康器具の活用（トレーニングルーム）…各〇〇教室（スポネットせいらう等の事業）

#### 【歩きたくなる、歩いてしまう取組】

- まちを歩いて楽しめるような、歩行者や自転車にとってやさしい空間づくり
  - ・歩道や自転車道の整備（網代浜～次第浜の海岸等）
  - ・ウォーキングロードマップを活用した事業の展開

#### 【歩いて暮らせる、出かけやすい取組】

- お年寄りでも安心して移動できる公共交通の充実と利用の促進

## 2 東京オリンピック・パラリンピック開催を機に

### (1) 取り巻く状況

平成25年9月、「2020東京オリンピック・パラリンピック」の開催が決定しました。オリンピック・パラリンピックは、世界中の人々に大きな夢や感動を与え、あらゆる人々がスポーツを通じ、健康で豊かな生活を営むことができるとともに、聖籠町から世界へ羽ばたく選手を育成する絶好の機会となります。

東京オリンピック・パラリンピックを契機に、トップアスリートをはじめとした日本を含む海外チームが参加する大会、合宿等を誘致する機会ともいえます。

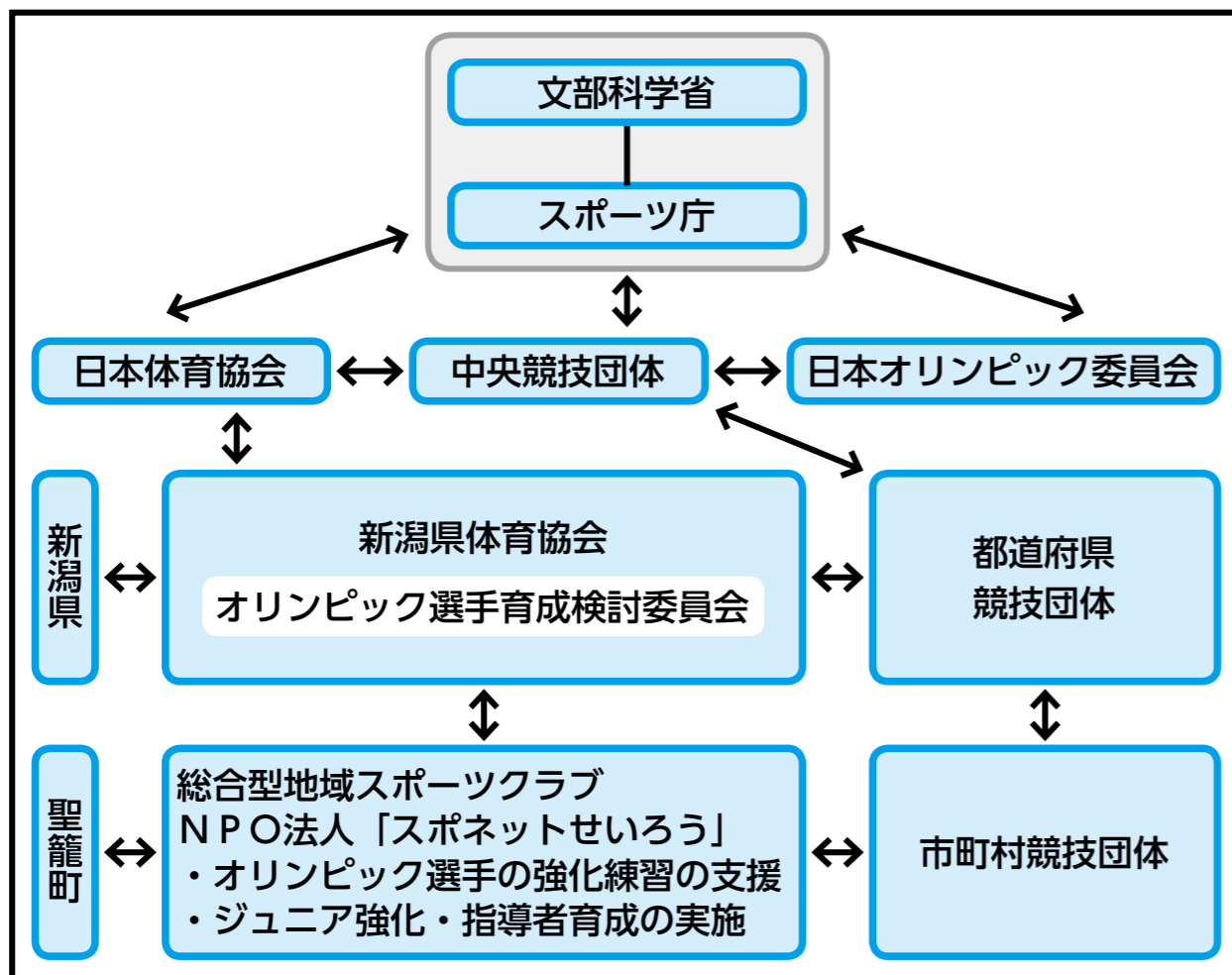
### (2) 課題解決のための方向性

- ① 東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、聖籠町から世界へ羽ばたく選手を育成します。

#### 【重点項目】

- 1 ジュニアからトップアスリートまでの競技力向上施策の推進
- 2 指導者の育成、資質向上の取組
- 3 障がい者の競技スポーツ推進

## ／ 聖籠町から世界へ！！ ／



- ② 2020年に開催される「東京オリンピック・パラリンピック」に向けてスポーツへの関心が高まることが予想される中、JAPANサッカーカレッジやプロのサッカークラブ(男女)の活躍及び全国高等学校選手権大会のフェンシング競技で優勝者が出るなど、オリンピック出場への機運が高まっています。町の特徴を活かしたスポーツイベントや国際レベルの大会等の誘致などによる交流人口の拡大を図ります。

#### 【重点項目】

- 1 スポーツイベントの拡充・開催の支援
- 2 東京オリンピック・パラリンピックに出場する日本・海外ナショナルチームの事前合宿誘致等
- 3 全国、国際規模の大会等の誘致

## 3 スポーツ施設の状況

### (1) 取り巻く状況

本町はこれまで、町民の皆様にとって身近なスポーツ施設の整備を進めてきました。本町の特徴として、町総合体育館を中心とした社会体育施設や三小学校区にそれぞれ多目的屋内運動場（屋内で運動できる多目的な施設）など充実した施設を備えています。また、アルビレッジはプロのサッカー選手が練習できるサッカー場6面を有しており、その一角に全天候型の陸上用トラックが併設されています。

このことから、本町のだれもが、気軽にスポーツを楽しむことができる環境が充実しています。また、サッカー場には町内外から見学に訪れる人がおり、交流の場ともなっています。

一方で、これらの町スポーツ施設の維持管理に必要な経費が増加しているほか、老朽化も進んでいるところがあり、今後も施設を安全に利用していただくためには、大規模な改修や更新を計画的に行っていくことが課題となっています。

### (2) 課題解決のための方向性

今後も、建物や設備の耐用年数の超過や老朽化により、維持補修にかかる費用が増加していくと見込まれます。厳しい財政状況が見込まれる中で、既存のスポーツ施設を現状の規模や箇所数で更新していくことは困難です。そこで、既存施設に対する利用者、地域のニーズを的確にとらえ、各施設の活用度や老朽度などを総合的に勘案し、施設の長寿命化や多機能化、複合化を図るための方針を検討して、スポーツ施設の整備改修計画を策定していきます。

## 4 アンケート調査の概要

### (1) 調査目的

聖籠町生涯スポーツ推進計画の策定にあたり、町民の「スポーツに関すること」「生活状況に関すること」を把握し、今後の生涯スポーツ推進計画に反映させることを目的にアンケート調査を行いました。

### (2) 調査内容

- ◆ 調査月 : 平成27年8月
- ◆ 調査基準日 : 平成27年7月1日
- ◆ 調査対象者 : 聖籠町在住の16歳以上の町民  
聖籠町の町立小・中学校 小学校は3年生以上、中学校は全生徒
- ◆ 回収方法 : 郵送や手渡しによる配布・回収

### (3) 回収結果

|                 |      |        |
|-----------------|------|--------|
| 16歳以上<br>(一般成人) | 配布部数 | 1,200名 |
|                 | 回収部数 | 389名   |
|                 | 回収率  | 32.4%  |
| 小学校<br>(3～6年)   | 配布部数 | 525名   |
|                 | 回収部数 | 519名   |
|                 | 回収率  | 98.9%  |
| 中学校<br>(1～3年)   | 配布部数 | 402名   |
|                 | 回収部数 | 387名   |
|                 | 回収率  | 96.3%  |

### (4) 調査結果の見方

- ① 回答の比率は、すべての小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。したがって、回答者比率の合計が100%にならない場合があります。
- ② グラフの「n」の数値は、設問への回答者数（人）を表します。
- ③ 図表において、コンピューターの入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合があります。

---

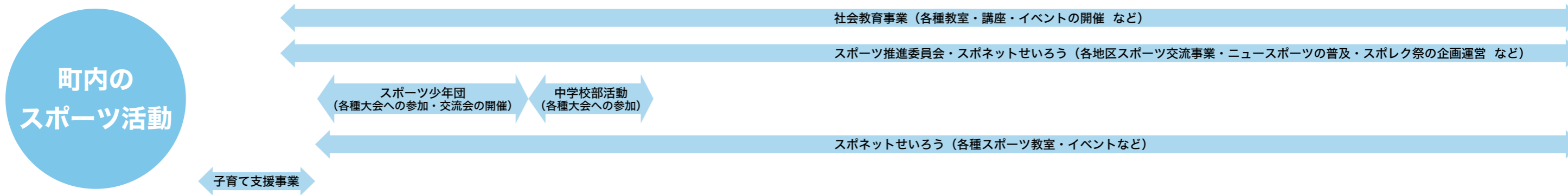
## 第2章 基本計画

---



# 第1節 生涯各期のスポーツ体系 各ライフステージにおける個人の状況

|                    |  |                         |   |                |  |       |   |         |  |       |  |  |
|--------------------|--|-------------------------|---|----------------|--|-------|---|---------|--|-------|--|--|
|                    | 乳幼児期 (概ね0~5歳)  | 児童期・青年 (前期) 期 (概ね6~18歳) | 青年 (後) ・壮年期 (概ね19~39歳)  | 中年期 (概ね40~64歳) | 高齢期 (前期・後期) (概ね65歳以上)  |       |   |         |  |       |  |  |
|                    | (0歳)   | (6歳)                    | (12歳)   | (18歳)          | (20歳)  | (40歳) | (60歳)   | (64歳)   | (70歳)  | (80歳) |  |  |
|                    | 小学生  |                         | 中・高校生   |                |  |       |   |         |  |       |  |  |
| 人生の節目              | 誕生   | 入学                      | 進学  | 進学就職           |  |       |   | 定年退職    |  |       |  |  |
| 社会的立場              | 子ども (未成年)  |                         |   | 成人             |  |       |   |         |  |       |  |  |
| 主な生活の場             | (家庭・地域・幼稚園・保育園)  |                         | (家庭・地域・学校)  |                | (家庭・地域・職場)   |       |   | (家庭・地域) |  |       |  |  |
| 身体的特徴              | <ul style="list-style-type: none"> <li>生理的機能が次第に自立する</li> <li>人格や基本的な生活習慣の基礎を形成する時期</li> </ul> |                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>精神、神経機能の発達期</li> <li>基本的な生活習慣の固まる時期</li> </ul> |                | <p>思春期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思春期を迎え、心身の変化が大きく現れる</li> <li>反抗期となる</li> <li>生活習慣が固まる時期だが、食生活など健康に大きく影響する行動が始まる時期</li> </ul> |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>身体的にはほぼ成熟し、大人へ移行する</li> <li>学生生活や単身生活で、生活習慣の問題が発生しやすくなる</li> </ul>         |         | <p>更年期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神的、身体的な機能が充実する</li> <li>精神、身体機能が徐々に低下していき、健康が気になり始める</li> <li>社会における重要性が増す</li> </ul> |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>社会的には、人生の完成期で、余生を楽しむ時期である一方、健康問題が大きくなる</li> </ul> |  |
| ライフスタイル            | <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭、こども園を中心とした生活</li> </ul>                              |                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭、学校を中心とした生活</li> <li>少しずつ交流範囲が広がる</li> </ul> |                | <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭、学校を中心とした生活</li> <li>家庭よりも友人達と過ごす時間が増え、交流範囲が拡大する</li> </ul>   |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>今まで育ってきた環境から自立する時期</li> <li>学生もいれば就業者もいる</li> <li>結婚して家庭を持つ者もいる</li> </ul> |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>就職、結婚、出産、子育てなどの生活形態が大きく変化する、社会的にも最も活動的な時期</li> <li>子育てを通じて健康の問題を改めて考える時期</li> </ul>               |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>自らの老後に向けて健康を考え直す時期</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活の質を維持し、豊かに暮らせるよう、社会との交流をはかり、社会的役割を持つことが大切な時期</li> </ul> |
| 健康観の形成に対する影響が大きい要因 | 家庭   |                         | 家庭・学校教育・地域  |                | 家庭・学校教育・友人関係・メディア  |       | 友人関係・メディア   |         | 職場・地域・家庭・メディア  |       | 職場・家庭・地域   |  |



第1章 基本構想

第2章 基本計画

資料編

第1章 基本構想

第2章 基本計画

資料編

## 乳・幼児期

### 〈一般的な特徴〉

- 脳や神経系が急速に発達する。
- 一生のうちで最もダイナミックに発育する。
- 基本的な生活習慣や人間形成の基礎が培われる。
- 五感を使った遊びを通して、心と体をつくる。
- スキンシップから情緒や行動傾向が形成される大事な時期です。

### 〈町の現状と課題〉

- 全国的に見れば、少子化に歯止めはかかっているが、核家族化しており、交流(遊び)の機会は少ない。
- 町の子育て事業に参加している親子は遊びの機会が増えている。参加していない親子への啓発をしていく。
- 育児・子育てに自信がもてないという状況がある。

親子のふれ合いを大切に！

### 〈ライフステージにおける運動のポイント〉

- 幼児期から少年期の外遊びやスポーツは、子どもの心身の健全な成長を促し、スポーツ習慣の形成の基盤となる。
- 遊びを通して体を動かす楽しさの体験をたくさん積む。
- 歩く、走る、跳ぶ、投げるなどの多様な遊びの体験をする。
- 親子遊び、かけっこなどの遊び、通園時に歩かせるなど。
- 集団での遊び、ボールなど用具を使った遊びの体験をする。

### 〈対象事業〉

- スポーツ交流事業(社会教育課)
- 遊び教室  
(保健福祉課、健康福祉協議会)
- すくすく教室(子育て支援センター)
- すくすくサロンさくらんぼ  
(子育て支援センター)
- 自主サークルグループ

0歳～6歳

7歳～12歳

15歳 20歳 30歳 40歳 50歳 60歳 70歳 80歳

## 児童期

### 〈一般的な特徴〉

- 神経系の発達が活発になる。
- 調整力の発達が顕著となる。
- 持続力のある運動やスポーツが可能となる。
- 走る、跳ぶ、投げる、捕るなどの基本的な運動技能ができるようになる。
- 精神的、身体的にも大人に近づき、基本的な生活習慣が身に付いている。
- 多様な運動経験がこの時期に与える影響はとて大きい。

### 〈町の現状と課題〉

- スポーツ少年団への加入率は、小学生全体の約35%前後であり、これらに所属しない子どもたちの運動・スポーツ参加を促す必要がある。
- また、小学生女子の運動実施の低下を受けて、バドミントン、女子サッカー、ソフトテニス、ヒップポップなどの教室ができている。
- 子どもの体力・運動能力は最も高かった昭和60年頃と比較すると低い状況である。現在の町の状況は、全国と比較するとソフトボール投げと敏捷性は優れているものの50m走と握力と柔軟性が劣っている。(別紙資料編参照)
- 学校と地域が連携し、一貫指導体制の確立が必要である。
- 土曜日の過ごし方として、子どもたちへのスポーツ活動の指導者・ボランティア活動への参加が望まれる。

楽しく運動やスポーツを行おう！

### 〈ライフステージにおける運動のポイント〉

- 家庭の自家用車に頼らず、通学時はしっかり歩いて体をつくろう。
- 運動習慣を身に付け、中等度も「息がはずむ」程度の運動を1回30分以上、週3回以上行いましょう。
- 地域行事へ参加し、多くの人と交流しましょう。
- 地域の中での友達との活動を楽しみましょう。

### 〈対象事業〉

- スポーツ交流事業  
(社会教育課、スポネットせいろう)
- スポーツ少年団(スポネットせいろう)
- 週末こども体験事業(社会教育課)
- 各種大会(スポネットせいろう)

## 青年期(前期)

### 〈一般的な特徴〉

- 個人差や性差は見られるが、身体的・精神的な発達著しい。
- 思春期を迎え、心身の変化が現れる。
- 基本的な生活習慣が固まる時期だが、食生活など健康面に大きく影響する行動が始まる。
- 身体能力が飛躍的に向上する。
- 親しい友人や仲間を積極的に求め、交友関係が広がる。

### 〈町の現状と課題〉

- 中高生の運動・スポーツ活動は、学校の部活動が中心と、なっている。
- 指導者が不足しているため、学校と地域が連携した取り組みが必要である。
- スポーツをする人とならない人の二極化が見られる。
- 体力や運動能力の個人差が開き始めている。

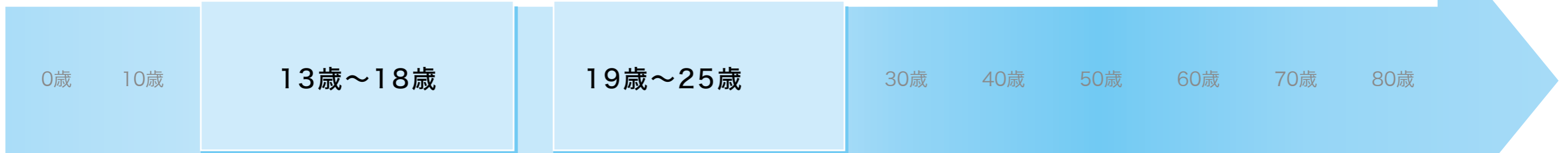
個々の可能性にチャレンジ!

### 〈ライフステージにおける運動のポイント〉

- 「ややきつい」「かなりきつい」と感じる程度の運動・スポーツを1日10～30分、週3日以上行いましょう。
- 成長に応じて「ややきつい」と感じる筋力トレーニングを、1日10～30分、週2日行いましょう。

### 〈対象事業〉

- スポーツ交流事業(社会教育課)
- スポネットせいろう主催事業
- 中学校部活動支援事業(社会教育課)
- 中学校スポーツ大会  
(バスケットボール、ソフトテニス)  
(スポネットせいろう)



## 青年期(後期)

### 〈一般的な特徴〉

- 神経系の発達が活発になる。
- 調整力の発達が顕著となる。
- 持久力的な運動やスポーツが可能となる。
- 走る、跳ぶ、投げる、捕るなどの基本的な運動技能ができるようになる。
- 精神的、身体的にも大人に近づき、基本的な生活習慣が身に付いている。

### 〈町の現状と課題〉

- 総合型地域スポーツクラブNPO法人「スポネットせいろう」を中心として、各種大会や交流が行われている。
- 楽しみや気晴らしとして運動やスポーツを行う傾向が見られる。
- スポーツをする人とならない人の二極化顕著となる。
- 歩く時間が減少してきたり、歩幅が短くなり、歩く速度もゆっくりとなってきたりするので、健康に関する正しい知識を身に付け、運動の必要性について、一人一人が理解することが求められている。

楽しく運動やスポーツを行おう!

### 〈ライフステージにおける運動のポイント〉

- 自分に適した運動やスポーツを主体的に行いましょう。
- 「ややきつい」「かなりきつい」と感じる程度の運動・スポーツを1日10～30分、週3日以上行いましょう。
- 「ややきつい」と感じる筋力トレーニングを、1日10～30分程度、週2日行いましょう。

### 〈対象事業〉

- スポーツ交流事業  
(社会教育課、スポネットせいろう)
- スポネットせいろう主催事業  
(スポネットせいろう)
- 各種スポーツ大会  
(社会教育課、スポネットせいろう)

## 壮年期

### 〈一般的な特徴〉

- 筋力・柔軟性・持久力などの運動能力が低下し始めている。
- 社会人・家庭人として新たなライフステージを迎える。
- 仕事や子育て等で時間的な制約が多くなっていく。

### 〈町の現状と課題〉

- 仕事や子育て等が忙しく、運動やスポーツを行う時間がもてなくなってくる。子育てしながら運動やスポーツができるように保育ルームの必要性を感じる。
- 定期的な運動やスポーツの必要性を感じている人は多い。
- スポーツやレクリエーション活動を通じた仲間づくりや社交の機会づくりが大切となる。

スポーツをする時間の確保を工夫しよう

### 〈ライフステージにおける運動のポイント！〉

- 時間を有効的に活用しよう！
- 「普通」「ややきつい」と感じる程度のウォーキング・ジョギング・水泳等の有酸素運動を1日15分以上、週3回以上行いましょう。
- 「ややきつい」と感じる筋力トレーニングやストレッチ等を1日10～30分程度、週1日～2日行いましょう。

### 〈対象事業〉

- スポーツ交流事業  
(社会教育課、スポネットせいろう)
- 各種運動教室(スポネットせいろう)

0歳 10歳 20歳 25歳 26歳～39歳 40歳～64歳 65歳 70歳 80歳

## 中年期

### 〈一般的な特徴〉

- 仕事や子育て等忙しく、消極的な余暇活動が見られる。
- 40歳頃から視力が低下し始める。
- 身体活動が減少し、体脂肪率が高くなる傾向が見られる。
- 女性は、骨量の減少が進み始める。

### 〈町の現状と課題〉

- 仕事や子育て等が忙しく、運動やスポーツを行う時間が少ない。
- 定期的な運動やスポーツの必要性を感じている人は多い。
- 健康づくり・運動不足の解消・ストレスの発散を一次予防として運動やスポーツを行っている人が多い。

退職後の生きがいを探しましょう

### 〈ライフステージにおける運動のポイント！〉

- 「普通」「ややきつい」と感じる程度のウォーキング・ジョギング・水泳等の有酸素運動を1日15分以上、週3回以上行いましょう。
- 「ややきつい」と感じる筋力トレーニングやストレッチ等を1日10～30分程度、週1日～2日行いましょう。

### 〈対象事業〉

- スポーツ交流事業  
(社会教育課、スポネットせいろう)
- ウォーキング、トレッキング  
(保健福祉課、スポネットせいろう)
- 各種運動教室(スポネットせいろう)



## 高齢期(前期)

### 〈一般的な特徴〉

- 体力・運動能力・柔軟性の低下が著しい。
- 疲労回復が遅くなり、体温調節機能も弱くなる。
- 退職に伴い、自由時間が増大する。
- 健康に関心が高まり、積極的に健康づくりを始める人が多い。
- 疾病に対する第二次予防の割合が増えてくる。

### 〈町の現状と課題〉

- 仲間づくりや生きがいづくり、健康づくりのため、運動・スポーツへの参加促進を図っていくことが求められている。
- ゲートボール、グラウンドゴルフ、健康ダンス、卓球への参加が多く見られる。
- ストレッチや柔軟体操の方法や運動時の水分補給など、正しい情報を必要としている。

人生最大の自由時間を有意義に！

### 〈ライフステージにおける運動のポイント！〉

- 栄養バランスの取れた食生活と個人に応じた運動を主体的に行いましょう。
- 心地良いと感じる程度のウォーキングや体操等を1日15分、週3日以上行いましょう。
- 心地良いと感じる程度の筋力トレーニングを1日10分程度、週1日～2日行いましょう。
- スポーツやボランティア活動へ参加しよう。

### 〈対象事業〉

- スポーツ交流事業(社会教育課)
- 転倒予防教室(保健福祉課)
- 健康ダンス・グラウンドゴルフ等  
(老人クラブ)
- あそび場教室、健康ウォーク  
(スポネットせいろう)
- 大会(卓球、グラウンドゴルフ・ゲートボール(スポネットせいろう))

0歳 10歳 20歳 30歳 40歳 50歳 60歳 64歳

65歳～74歳

75歳以上

## 高齢期(後期)

### 〈一般的な特徴〉

- 体力・運動能力が低下し、疲労回復が遅くなり、病気に対する抵抗力も衰える。
- 健康に対する不安や精神的な不安に陥りやすくなる。
- 筋骨格系・神経系の低下により、転倒骨折・腰痛を引き起こす。

### 〈町の現状と課題〉

- 畑作業や趣味、仲間との交流等を楽しんでいる。
- 自ら健康づくりを心がけ、自立したライフスタイルが求められている。
- 仲間や世代を超えた人たちとの交流の機会が求められている。
- 脱水と低栄養にならないよう、適切な水分補給と食生活が望まれている。
- 健康教室に参加する人は、女性が多い。男性への参加を促していく必要がある。

楽しく体を動かしましょう！

### 〈ライフステージにおける運動のポイント！〉

- 体を動かした時の心地よさ、楽しさを実感しながら無理のない運動を行いましょう。
- ウォーキングなどの運動を1日15分、週3日以上行いましょう。
- 体操やストレッチングを、1日10～30分程度、週1～2日行いましょう。
- スポーツやボランティア活動へ参加しましょう。

### 〈対象事業〉

- スポーツ交流事業(社会教育課)
- 転倒予防教室(保健福祉課)
- 健康ダンス・グラウンドゴルフ等  
(老人クラブ)
- あそび場教室、健康ウォーク  
(スポネットせいろう)
- 大会(卓球、グラウンドゴルフ・ゲートボール(スポネットせいろう))

## 第2節 するスポーツ

### 【基本方針】

生涯にわたるスポーツ活動を推進します！

聖籠町では「する」スポーツを、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、初心者から上級者、さらにはトップアスリートまでさまざまな人が主体的に「する」スポーツと考えています。

スポーツになじみの薄い人やスポーツをしなくてもきっかけがないという人もいる中で、だれもが、気軽に行うことができる運動やウォーキングなどを含めた、スポーツ活動にかかわることができる「する」スポーツの環境づくりを進めます。

国の計画における「成人の週1回以上の実施率」の目標値が50%から65%に変更されたこと、さらには「成人の週3回以上のスポーツ実施率」を30%とするといった新たな目標値も設定されるなど、より一層のスポーツ実施率向上が求められています。

「スポーツに満ちたまち 明るく豊かなまち」の実現に向けて、「する」スポーツでは、次の数値目標を定めます。

|   | 評価指標                | 現在値（平成27年度） |       | 目標値（平成37年度） |       |
|---|---------------------|-------------|-------|-------------|-------|
|   |                     | 小学生         | 中学生   | 小学生         | 中学生   |
| ① | 児童・生徒の週1回以上のスポーツ実施率 | 小学生         | 85.0% | 小学生         | 90.0% |
|   |                     | 中学生         | 86.0% | 中学生         | 90.0% |
| ② | 成人の週1回以上のスポーツ実施率    | 65歳以下       | 27.9% | 65歳以下       | 65.0% |
|   |                     | 65歳以上       | 30.6% | 65歳以上       | 65.0% |
| ③ | 体力の衰えや運動不足だと思う町民の割合 | 87.8%       |       | 60%         |       |

#### <推進項目>

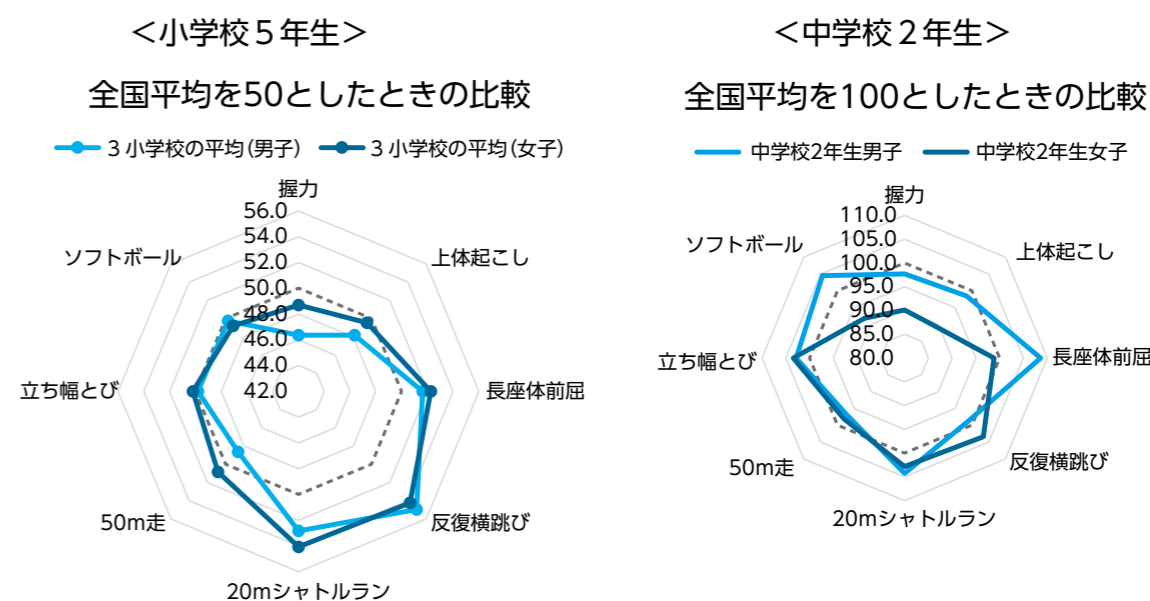
- 1 子どものスポーツ推進
- 2 気軽にできるスポーツ推進
- 3 親子で楽しめるスポーツ推進
- 4 高齢者のスポーツ推進
- 5 障がい者のスポーツ推進

## 1 子どものスポーツ推進

### 【現状と課題】

(1) 近年、幼児、子どもの体力・運動能力は、低下する傾向にあります。現在の状況は、全国と比較すると、「20mシャトルラン」「反復横跳び」はやや優れているものの、握力や50m走、柔軟性に落ち込みが見られます。幼児期から、いかに楽しく遊びを通して運動を体験し、継続していくかが重要です。

#### ※新体力テストの結果（聖籠町の小・中学生）

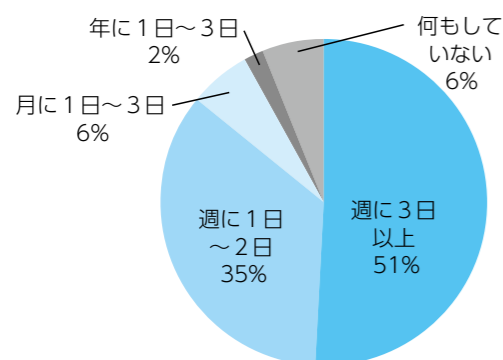


※文部科学省が、平成11年度の体力・運動能力調査から導入した「新体力テスト」は、国民の体位の変化、スポーツ医・科学の進歩、高齢化の進展等を踏まえ、これまでのテストを全面的に見直して、現状に合ったものとしたものです。

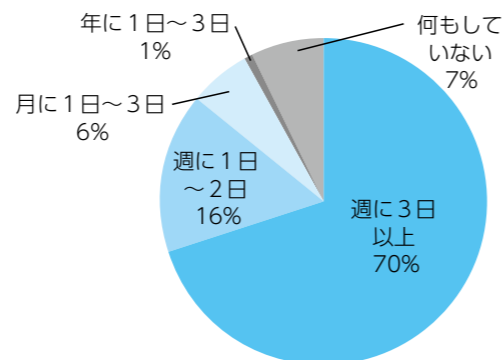
※文部科学省が、小5と中2の全員を対象に実施した2014年度全国体力調査では、測定した8種目の数値を得点化した合計点で、新潟県は小5男子が2年続けて2位、小5女子が3位、中2女子が5位といずれも上位でした。運動習慣の改善を目的に各学校での着実な取組が、全国上位の体力につながっているのではと考えられています。

(2) 町の小・中学生のスポーツ実施状況で週1日以上の実施者の割合は、86%となっています。しかし、中学生の女子の運動離れが顕著であり、14%の生徒が運動やスポーツは何もしていないと答えています。また、運動やスポーツを「ほとんどしない」、または「全くしない」と回答した理由については、「運動やスポーツが嫌いだから」(33%)「時間がないから(塾など)」(14%)「自分がしたいスポーツ教室がないから」(12%)が上位に挙げられています。子どもの外遊びやスポーツ活動を推進し、子どもにスポーツの楽しさを知ってもらうことが必要です。

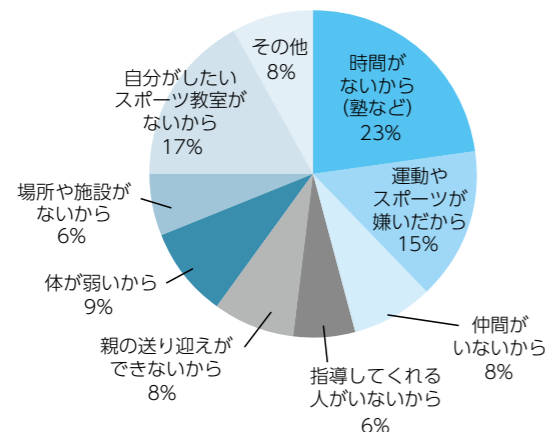
<運動やスポーツの実施率…小学生>



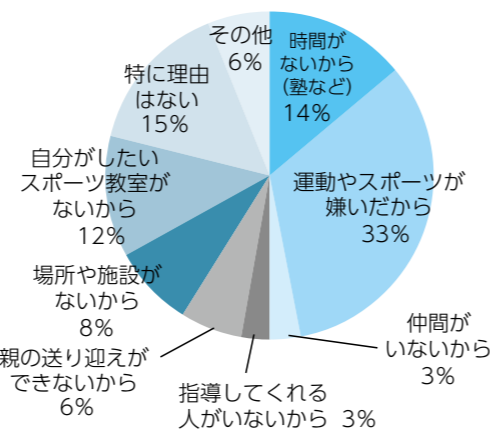
<中学生>



<運動やスポーツをしなかった理由…小学生>



<中学生>



**【施策の方向】**

・現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

- (1) 生活実態調査・体力実態調査の実施
- (2) 幼児・子どもたちの運動やスポーツの機会拡大
- (3) 学校体育、部活動の充実

**【具体的施策】** 主管課：社会教育課 連携：子ども教育課、スポネットせいらう

・施策を展開するための主な取組を示します。

◎は重点項目

| No. | 主な取組  |
|-----|---|
| ①   | ◎町内の小・中学校の生活実態や体力実態の調査を行い、その改善策を検討します。              |
| ②   | ◎町のスポーツアドバイザーによる出前指導を有効に活用し、幼児期からスポーツがしやすい環境をつくれます。 |
| ③   | 自由な時間に進んで安全に運動できる機会と場として、週末体験クラブ等を充実させます。           |
| ④   | スポーツ少年団の活動や大会などの支援を行います。                            |
| ⑤   | 関係機関との協力のもとに、外部指導者の活用などを推進していきます。                   |
| ⑥   | 県、町の補助による「スポーツエキスパート活用事業(中学校部活動支援指導)」の活用を促進します。     |

**2 気軽にできるスポーツ推進**

**【現状と課題】**

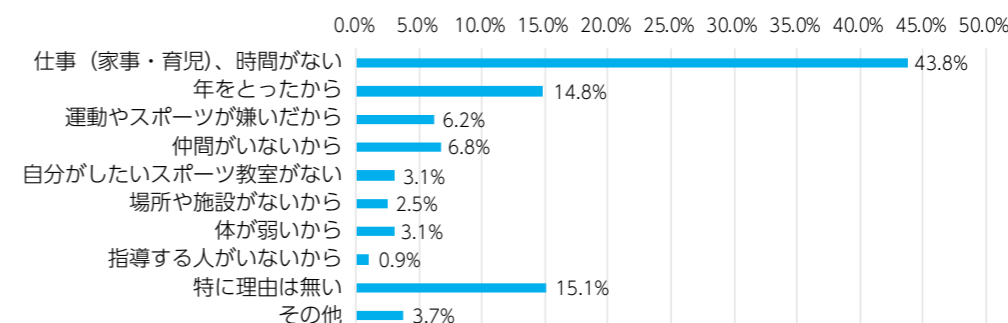
(1) 運動不足については、85%の人が「大いに感じる」「ある程度感じる」と答えています。運動不足と健康維持・増進のためには、町民が、気軽にどこでもスポーツを楽しむことができるように、身近な地域におけるスポーツ環境の整備が必要です。

(2) 78%の人が定期的な運動が必要だと感じています。自分に合った健康維持・増進の方法を具体的に知り、日常生活に取り入れ、楽しみながら運動を継続することができるような取組が必要です。

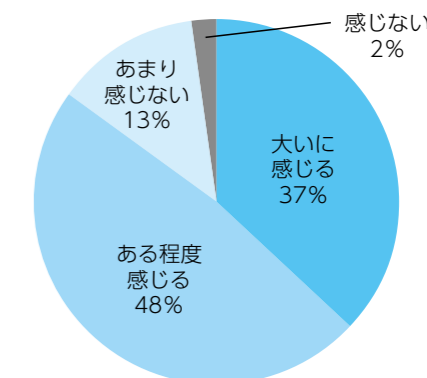
(3) スポーツをしない理由として「仕事(家事・育児)が忙しく時間がないから」が43.8%、「年をとったから」が14.8%と多くなっています。

また、とりわけ20代から30代のスポーツ実施率が低くなっており、町民アンケートでは、53.8%の人が「何もしない」と答えています。仕事(家事・育児)、時間がない人も、気軽にいつでもスポーツを行うことができる環境整備や高齢者に対する健康づくりの啓発、手軽に楽しくできる種目の工夫が必要です。

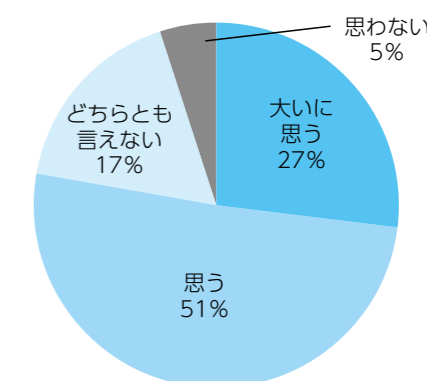
<運動やスポーツをしなかった理由(一般成人)>



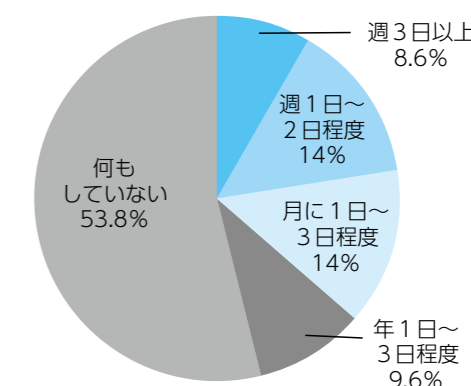
Q. 運動不足を感じていますか？(一般成人)



Q. あなたは定期的な運動やスポーツの必要性があると思いますか。



20代から30代のスポーツ実施率(一般成人)





Q 現在、スポーツをしていない人で今後実施してみたいと思う運動やスポーツにはどのようなものがありますか。(一般成人)

| 種目              | %     | 種目                       | %      |
|-----------------|-------|--------------------------|--------|
| ウォーキング          | 14.4% | 走ること(ジョギング)              | 3.8%   |
| 水泳・アクアビクス       | 7.7%  | テニス                      | 3.8%   |
| 登山・ハイキング        | 7.7%  | スキー・スノーボード               | 3.8%   |
| エアロビクス・ヨガ       | 7.4%  | バドミントン                   | 3.4%   |
| 体操・ストレッチ        | 5.4%  | キャンプ                     | 3.4%   |
| 筋力トレーニング(ダンベル等) | 5.4%  | その他(卓球、ゴルフ、ゲートボール、マラソン等) | 24.5%  |
| サイクリング          | 4.5%  | 今後、やってみたいものはない           | 4.8%   |
|                 |       | 合計                       | 100.0% |

### 【施策の方向】

・現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて施策の方向を位置付けます。

- (1) 運動プログラムの充実、段階的な運動指導・健康づくりの推進
- (2) スポーツイベントや大会の開催によるスポーツ人口の拡大
- (3) 既存スポーツ施設の充実と運営改善

【具体的施策】 主管課：社会教育課 連携：子ども教育課、スポネットせいらう

・施策を展開するための主な取組を示します。 ◎は重点項目

| No. | 主な取組  |
|-----|---|
| ①   | ◎運動プログラムを充実させたり段階的な運動指導や健康づくりに対する啓発活動等を進めたりします。 |
| ②   | 指導者の養成と確保をしたり、関係団体と連携したりして、健康づくり事業を開催します。       |
| ③   | 各スポーツ関係団体等と連携して、各種のスポーツイベントや大会を開催します。           |
| ④   | 多世代や多様な興味・関心をもつ人が交流できるスポーツ事業を開催します。             |
| ⑤   | 既存の体育施設、広場や公園等の安全管理を徹底します。                      |
| ⑥   | スポーツを行う拠点づくりを推進します。                             |



### 3 親子で楽しめるスポーツ推進

#### 【現状と課題】

(1) 「仕事(家事・育児)が忙しく時間がない」ためにスポーツを行えなかったと回答した人が43.8%おり、子育てしている人にとっては運動やスポーツを行う余裕がないことがうかがえます。そこで、親と子がスポーツを通じてコミュニケーションを図り、親子でスポーツを楽しむ習慣を身に付けることができるよう、一時的に子どもを預かってくれる環境等を整え、支援体制づくりが必要です。

(2) スポーツを通じた健康づくりは、子どもたちの心身のバランスのとれた発育と発達に不可欠なものです。小さい頃から十分に体を動かしたり、遊んだりするなど、家族や地域で運動の楽しさを感じることができる機会が必要です。

(3) 「親子」「親同士」「子ども同士」がスポーツに親しむことができるよう、事業形態の工夫が必要です。

#### 【施策の方向】

・現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

- (1) 子育て期のスポーツ環境や機会の充実
- (2) スポーツ事業の参加形態やプログラムの工夫
- (3) ニュースポーツやレクリエーション種目の普及・発展

【具体的施策】 主管課：社会教育課 連携：スポネットせいらう

・施策を展開するための主な取組を示します。 ◎は重点項目

| No. | 主な取組  |
|-----|---|
| ①   | ◎親が安心してスポーツに参加できるように、スポーツ施設内に託児スペースを確保するなどの整備をします。              |
| ②   | 「幼児スポーツ教室」や「親子ミニ運動会」を開催します。                                     |
| ③   | 親子で気軽にスポーツを楽しむことができるように、世代を超え、だれもが自由に参加できる機会を設定します。             |
| ④   | ニュースポーツや家族みんなでスポーツにかかわり合いをもてるようなレクリエーション種目を取り入れたスポーツイベントを開催します。 |





## 4 高齢者のスポーツ推進

### 【現状と課題】

#### (1) 65歳以上の人口

町の総人口は、平成22年からみると増加傾向です。平成26年は14,273人となっています。また、0～14歳、15～64歳は横ばいで推移し、65歳以上の高齢者人口は増加傾向です。平成26年には3,147人で高齢化率<sup>1)</sup>は22.0%（国は25.1%）となっています。

| 区分     | 平成22年            | 平成23年            | 平成24年            | 平成25年            | 平成26年            |
|--------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 総人口    | 14,065           | 14,196           | 14,268           | 14,267           | 14,273           |
| 0～14歳  | 2,126<br>(15.1%) | 2,154<br>(15.2%) | 2,152<br>(15.1%) | 2,115<br>(14.8%) | 2,125<br>(14.9%) |
| 15～64歳 | 9,027<br>(64.2%) | 9,128<br>(64.3%) | 9,139<br>(64.0%) | 9,076<br>(63.6%) | 9,001<br>(63.1%) |
| 65歳以上  | 2,912<br>(20.7%) | 2,914<br>(20.5%) | 2,977<br>(20.9%) | 3,076<br>(21.6%) | 3,147<br>(22.0%) |

資料：住民基本台帳（平成26年8月1日現在）

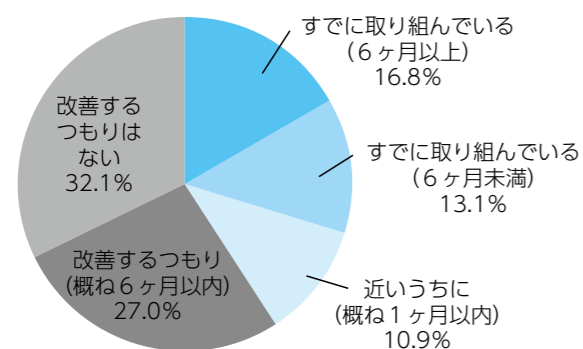
1) 高齢化率とは、65歳以上の高齢者人口（老年人口）が総人口に占める割合

(2) 高齢化社会の本格的な到来に伴い、スポーツによる高齢者の体力づくりは、健康寿命の延伸や介護予防、QOL<sup>2)</sup>向上の観点から、ますます重要な課題になっています。自らが健康づくりを心がけ、日常において軽度の運動の機会をできるだけ増やすことが望まれます。

(3) ウォーキングや体操、踊り等を行いたいとする高齢者が多い反面、運動や食生活等の改善をしないと答えている人が32.1%います。このような人に対して、健康づくりのためには、スポーツを行うことが重要であることを知らせ、スポーツの実施を促していく必要があります。

2) QOLとは、Quality of life「生活の質」という意味の略語で、人がどれだけ人間らしい望み通りの生活を送ることができるかを計るための尺度として働く概念をという意味です。

#### <運動や食生活を改善してみようと思いますか（一般成人）>



### 【施策の方向】

・現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

- (1) 身近な地域で気軽に参加できる運動機会の提供
- (2) 様々な運動プログラムの提供など運動機会の充実
- (3) 社会教育・保健福祉・医療機関等と連携した健康づくりプログラムの改善

### 【具体的施策】

主管課：社会教育課 連携：保健福祉課、子ども教育課、スポネットせいろう

・施策の方向ごとに、施策を展開するための主な取組を示します。 ◎は重点項目

| No. | 主な取組   |
|-----|--|
| ①   | ◎高齢者と子どもが交流できるイベントの開催や学校などの教育活動と連携した取組を進めます。 |
| ②   | ◎高齢者を対象とした「町内健康ウォーク」を開催します。                  |
| ③   | 高齢者が継続的に運動することができるよう各地区に高齢者向けの「健康教室」を開催します。  |
| ④   | 高齢者体力テストの普及と継続的な測定機会を設定します。                  |
| ⑤   | 町内会、老人会など健康への意識づくりや高齢者に適した身体運動の紹介を行います。      |
| ⑥   | 専門的技能をもつ指導者によるスポーツ事業を推進します。                  |



## 5 障がい者のスポーツ推進

### 【現状と課題】

(1) 障がいのある人にとってスポーツとは、体の機能の維持や改善、健康の維持増進という側面だけでなく、障がい者の自立と社会参加の促進に寄与するという大きな役割があります。聖籠町の障がい者のスポーツ実施率を向上させるために、身近な地域でスポーツを楽しむことができるような機会を設けることや利用しやすい環境等の整備が必要です。

(2) 障がい者がスポーツに親しむためのきっかけづくりやスポーツを日常的に行えるような拠点の整備が必要です。

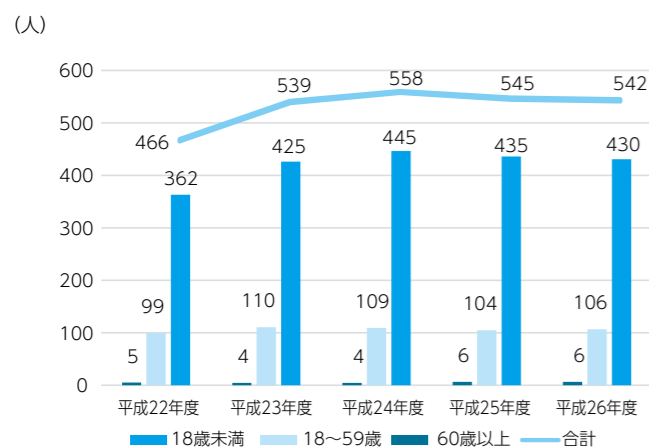
(3) 関係団体が連携し、スポーツ活動の場を提供し、身近な施設のバリアフリー化を進め、仲間づくりのための施策が必要です。

(4) 関係各団体と連携し、障がい者へのスポーツ活動を適切に行うことができる指導者の養成及び確保が必要です。

(5) パラリンピック競技大会をはじめとする障がい者スポーツ大会は、障がいのある人のスポーツへの参加の契機となるばかりでなく、多くの町民に感動を与えます。障がい者のスポーツ大会の開催や参加が円滑に行われるよう関係団体と連携して活動できる環境づくりが必要です。

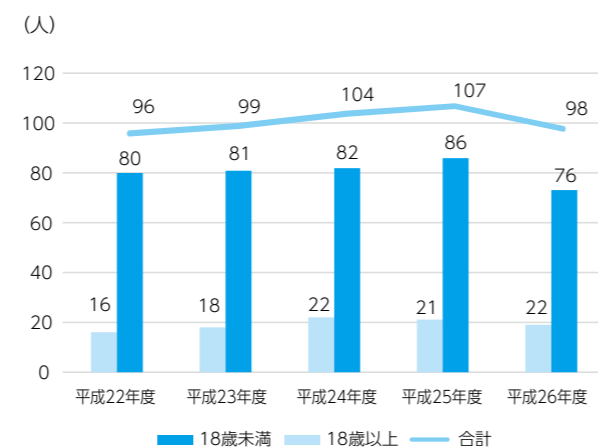
#### <聖籠町の障がい者の状況>

##### <身体障害者手帳所持者数の推移>



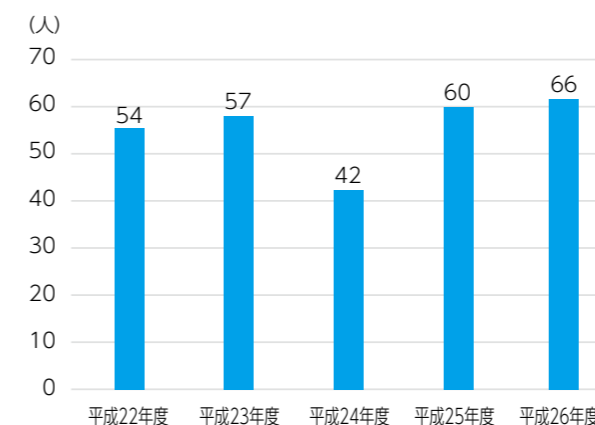
・60歳以上は平成22年度から増加し、平成24年度からやや減少傾向にあります。しかし、手帳所持者の79%が60歳以上であり、高齢化してきている状況です。

##### <療育（知的障がい者）手帳所持者数の推移>



・療育手帳所持者数はやや増加傾向にあります。平成22年度で96人、平成26年度で98人となっています。年齢的には、18歳以上が増加しています。

#### <精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移>



・平成25年度からやや増加傾向にあります。  
(資料：第4期聖籠町障がい福祉計画)



### 【施策の方向】

・現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策方向を位置付けます。

- (1) 障がい者スポーツの実態調査
- (2) 障がい者スポーツの体制整備
- (3) 障がい者が身近に参加できる環境の充実や合理的配慮

### 【具体的施策】

主管課：社会教育課、保健福祉課 連携：社会福祉協議会、スポネットせいろう

・施策を展開するための主な取組を示します。

◎は重点項目

| No. | 主な取組   |
|-----|--|
| ①   | ◎町内における障がいのある人の実態及び、スポーツ活動に対するニーズを把握し、参加を推進します。  |
| ②   | 関係機関と連携し、障がい者にかかわる情報交換を図ります。   |
| ③   | 関係機関との連携を深め、多様なスポーツ指導者やボランティアの養成・確保に努めます。  |
| ④   | 通路やトイレ施設など障がい者にとって使いやすい施設となるよう、一層の施設設備の充実を図ります。  |
| ⑤   | ◎障がいの有無にかかわらず遊びを通して共に育ちあうこと、親子共々仲間づくりをすることを目的に、「あそび教室」を開催します。乳幼児健康診査等の保健活動から発達に課題のある親子、遊び不足の親子に積極的に参加を勧めていきます。 |
| ⑥   | 近隣市町村の団体・サークル等と連携し、活動機会を確保します。   |



### 第3節 競う(競技)スポーツ

#### 【基本方針】

競技力の向上を推進します！

聖籠町では、「競う(競技)」スポーツを、競技力の向上を図り、選手や指導者を育成し、地元でスポーツが続けられる環境を整備していくことが「競う(競技)」スポーツと考えています。

聖籠町出身の選手やチームによる全国大会での活躍や、日本代表としての国際大会への参加は、町民にとって誇りであり、スポーツへの関心・意欲を高めることとなります。また、本町出身や本町ゆかりのトップアスリート等による指導機会の確保についても各競技団体と連携しながら積極的に取り組みます。さらに、障がい者スポーツと生涯スポーツ同様、競技スポーツとしての強化と普及を進めていく必要があります。

「スポーツに満ちたまち 明るく豊かなまち」の実現に向けて、「競う(競技)」スポーツでは、次の数値目標を定めます。

|   | 評価指標                    | 現在値(平成27年度) |       | 目標値(平成37年度) |       |
|---|-------------------------|-------------|-------|-------------|-------|
|   |                         | 小学生         | 中学生   | 小学生         | 中学生   |
| ① | スポーツクラブやスポーツ教室の加入率      | 64.7%       | 81.0% | 80.0%       | 90.0% |
| ② | 全国規模スポーツ大会出場者数(激励金交付件数) | 65件         |       | 70件         |       |
| ③ | 障がい者のスポーツ大会の開催          | 1回          |       | 3回          |       |

#### <推進項目>

- 1 ジュニアからトップアスリートまでの競技力向上への支援
- 2 指導者の育成、資質向上の取組
- 3 障がい者の競技スポーツ推進

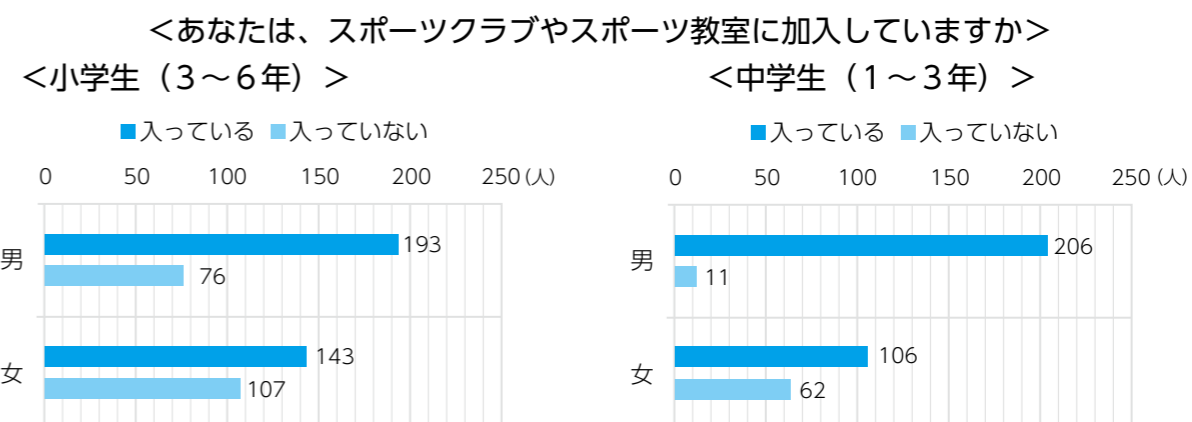
#### 1 ジュニアからトップアスリートまでの競技力向上への支援

##### 【現状と課題】

(1) 平成26、27年の全国高等学校総合体育大会のフェンシング競技において、連続優勝者を含めた複数の入賞者を輩出することができました。本町を代表する選手の活躍は、町のスポーツ振興の牽引役となっています。

(2) 本町の競技力の底上げを図り、町民の誇りとなるトップ選手を育成、支援するために、競技大会の開催支援や競技団体への補助、選手や指導者の激励・表彰制度を実施しています。今後さらなる競技力の向上を目指すために、制度の見直しと充実が必要です。

(3) スポネットせいろうでは、スポーツ少年団を結成したり、様々なスポーツ教室を開催したりして、スポーツの底上げを図っています。また、中学校では運動部活動を中心として競技スポーツに打ち込んでいます。しかし、小中学生の女子のクラブや教室の加入率が低いことが課題となっています。



##### 【施策の方向】

・現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

- (1) ジュニア選手の強化・育成
- (2) 競技団体の主体的な一貫指導体制の構築
- (3) 選手・指導者への支援体制の充実

##### 【具体的施策】 主管課：社会教育課 連携：スポネットせいろう

・施策の方向ごとに、施策を展開するための主な取組を示します。 ◎は重点項目

| No. | 主な取組   |
|-----|--|
| ①   | ◎次世代のアスリートとして活躍する選手が聖籠町から生まれるよう、ジュニア選手の強化・育成に取り組めます。                                       |
| ②   | 多様化するニーズに対応し、小学生から中学生における計画的な一貫指導体制の確立に努めます。   |
| ③   | 選手、指導者が地元で活動できる支援体制の充実を図り、競技団体と連携し、専門性の高い指導者の養成を計画的に行います。また、指導者育成のために講習会・研修会への積極的な参加を図ります。 |

## 2 指導者の育成・資質向上の取り組み

### 【現状と課題】

(1) 競技力の向上には、より高い指導力や高度な専門技術を有する指導者の育成が必要です。今後も全国中学校総合体育大会、全国高等学校総合体育大会、国民体育大会、世界選手権大会、オリンピック競技大会などへの出場に際して、競技スポーツに取り組む人の努力に対する顕彰を継続し、充実することが必要です

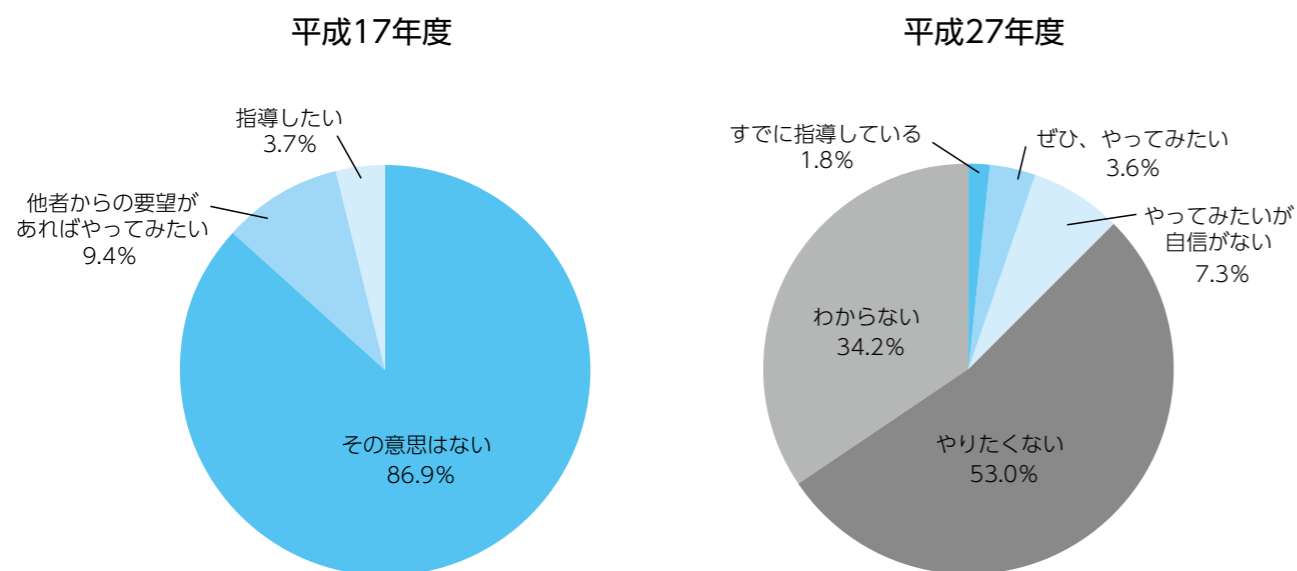
(2) 競技者の裾野を広げるハイレベルな試合を誘致し、開催することで競技人口の拡大や指導者の育成・資質向上、競技力向上を図る必要があります。

(3) 「指導者として、スポーツイベントやスポーツクラブに参加できますか」の問いに対して、53%の人が「やりたくない（その意志はない）」と答えています。しかし、10.9%の人が「ぜひ、やってみたい」「やってみたいが自信がない」と答えています。今後、積極的に人材の発掘や育成に力を入れていく必要があります。

(4) 運動やスポーツの楽しさを指導してくれる人や専門的な知識・技能をもった指導者を望んでいる声もあり、技能レベルに応じた指導やスポーツニーズの多様化に対する指導者の確保が必要です。

(5) 生涯スポーツ社会の実現を目指し、町民のスポーツ実践力を高め、継続的なスポーツ実践者の増大を図るためには、多くの指導者が必要です。今後、町民のニーズの拡大やスポーツ環境の変化に対応した新しい視点でのスポーツ指導者の充実を図っていく必要があります。

<指導者としてスポーツイベントやスポーツクラブに参加できますか（一般成人）>



### 【施策の方向】

・現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

- (1) 各種スポーツ団体との連携
- (2) 専門的な指導者の養成・確保
- (3) 指導者講習会・研修会の開催

### 【具体的施策】 主管課：社会教育課 連携：スポネットせいらう

・施策の方向ごとに、施策を展開するための主な取組を示します。 ◎は重点項目

| No. | 主な取組   |
|-----|--|
| ①   | ◎各種スポーツ団体と連携して、高い指導技術や幅広い知識、実技技能を有する指導者の育成・確保と地域への定着を図ります。   |
| ②   | 多様化するスポーツニーズに対応し、対象者のレベルに応じた指導が行われるよう、レクリエーション指導者、スポーツリーダー、障がい者スポーツなどの専門的な高い指導技術や幅広い知識、実技技能を有する指導者の育成・確保に努めます。 |
| ③   | 各種スポーツ団体などに働きかけ、指導者講習会や研修会などの参加機会を提供し、資質・指導力の向上を図ります。また、講習会参加への支援を行います。  |
| ④   | スポーツ推進委員の役割を十分に周知し、町民に対して、スポーツの指導及び普及、並びに推進を行います。  |





### 3 障がい者の競技スポーツ推進

#### 【現状と課題】

- (1) 本町では、障がいのある人のスポーツ活動の機会が少ないことが課題となっています。
- (2) パラリンピックの所管が文部科学省に移ったことから、今後は生涯スポーツはもとより、競技スポーツとしての強化と普及が図られることが期待されています。
- (3) 障がい者スポーツに関わる関係団体、既存のスポーツ団体が連携し、競技スポーツの推進が必要です。

#### 【施策の方向】

・現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

- (1) 障がい者スポーツ選手の育成・強化
- (2) 障がい者スポーツ大会の開催
- (3) 障がい者スポーツ関係団体との連携
- (4) 障がい者スポーツ指導員の養成・確保

**【具体的施策】** 主管課：社会教育課 連携：保健福祉課、社会福祉協議会、  
スポネットせいろう

・施策を展開するための主な取組を示します。 ◎は重点項目

| No. | 主な取組   |
|-----|--|
| ①   | ◎障がい者スポーツへの理解促進を図るとともに、選手の発掘・育成につなげるための取組や組織体制づくりを進めます。      |
| ②   | 障がい者スポーツ講習会や障がい者スポーツ大会を開催したり、大会への派遣を支援したりします。                |
| ③   | 障がい者にかかわる関係団体、既存のスポーツ団体を連携させ、障がい者の競技スポーツを推進します。              |
| ④   | 障がいの特性に応じたスポーツの指導に必要な知識及び技術について講習会を開き、初級障がい者スポーツ指導員の養成に努めます。 |



### 第4節 支えるスポーツ

#### 【基本方針】

町民主体のスポーツを支える組織を支援します！

聖籠町では、「支える」スポーツを、町民一人一人が生涯を通じ、継続してスポーツに親しむことができるように、指導者やスポーツボランティアを支援することや、支援体制を整えるなどのスポーツ環境を「支える」と考えています。

平成18年度に設立された、総合型地域スポーツクラブ「スポネットせいろう」は、子どもから高齢者を対象にした様々なスポーツ活動を実施しています。また、スポーツ推進委員、各種競技団体、スポーツ少年団、老人クラブなどと連携し、町民が自立して主体的に活動できる環境の整備（＝スポーツを支える）を促進しています。

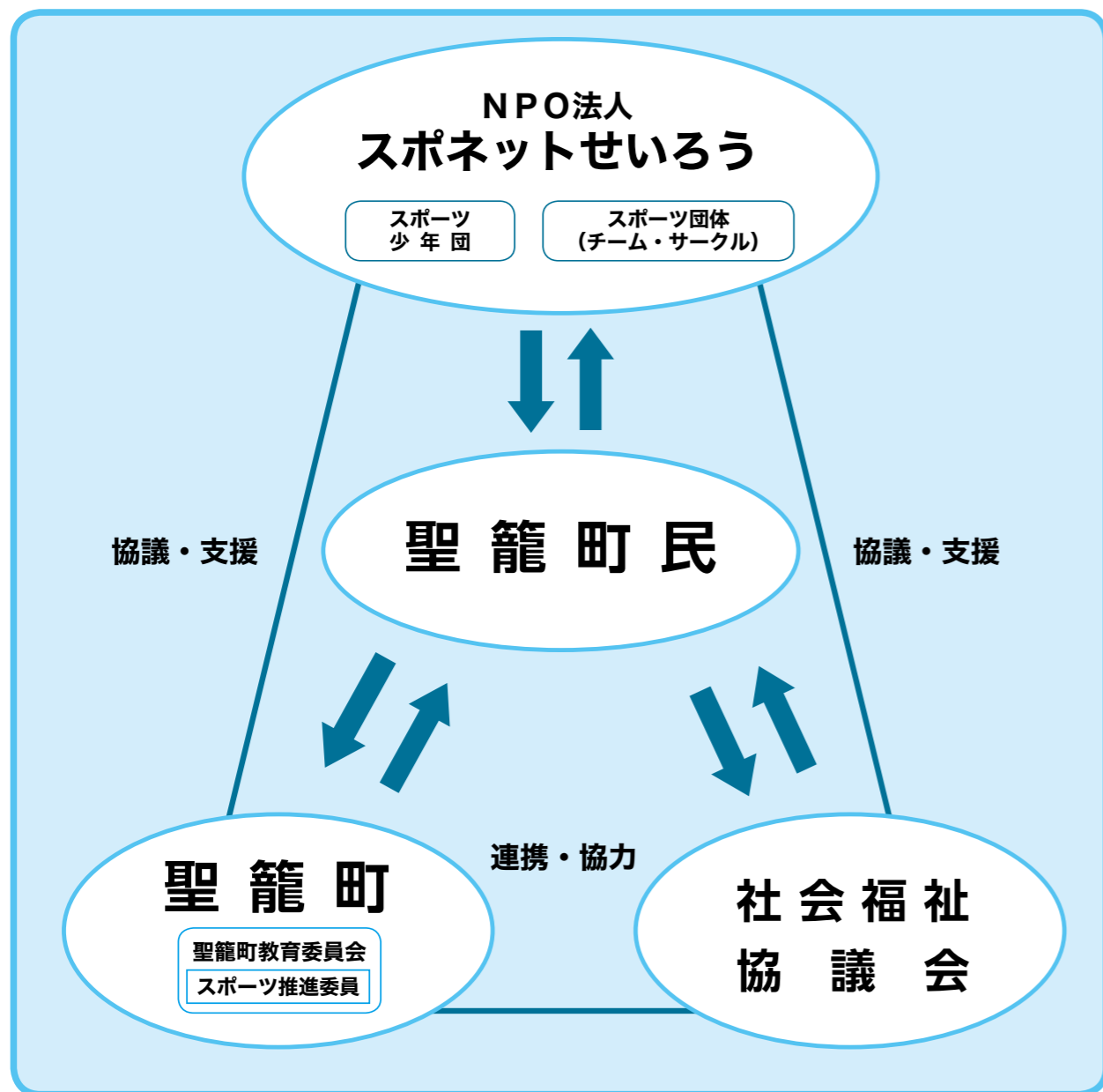
「スポーツに満ちたまち 明るく豊かなまち」の実現に向けて、「支える」スポーツでは、次の数値目標を定めます。

|   | 評価指標                                 | 現在値（平成27年度）          | 目標値（平成37年度） |
|---|--------------------------------------|----------------------|-------------|
| ① | 「スポネットせいろう」を知っている町民の割合               | 32.9%                | 60%         |
| ② | 町内運動施設利用者数（延べ）                       | 147,661人<br>（平成26年度） | 177,000人    |
| ③ | 町内スポーツ施設の満足度<br>（アンケートにより満足、概ね満足の割合） | —                    | 70%         |
| ④ | スポーツボランティアをやりたいという割合                 | 3.3%                 | 15%         |

#### <推進項目>

- 1 総合型地域スポーツクラブの充実に対する支援
- 2 スポーツボランティアの育成
- 3 スポーツ施設の整備・充実
- 4 スポーツの情報提供
- 5 フィジカルフィットネスサポートの充実
- 6 民間組織との連携
- 7 行政組織・機関の整備

## 支えるスポーツのイメージ図



### 1 総合型地域スポーツクラブの充実に対する支援

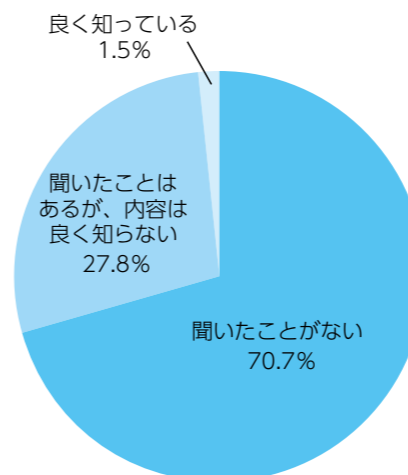
#### 【現状と課題】

(1) 平成18年に、設立された「スポネットせいろう」では、多種多様な事業が展開されました。現在、町民の健康についての意識は高くなっています。今後も、そのニーズに対応し、生涯にわたり誰もが、自分自身のライフスタイルに合わせて継続的にスポーツに親しむことができる環境づくりを目指すためには、総合型地域スポーツクラブ「スポネットせいろう」との連携を強化し、取り組んでいきます。

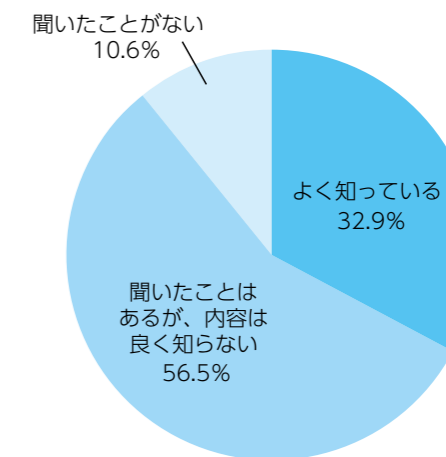
(2) 総合型地域スポーツクラブ「NPO法人スポネットせいろう」が設立されて10年が経ち、町民への認知度は上がっています。しかし、「聞いたことがない」(10.6%)「内容まで分からない」(56.5%)と答えている人に向けての情報提供や啓発への支援を行います。

＜総合型地域スポーツクラブを知っていますか＞

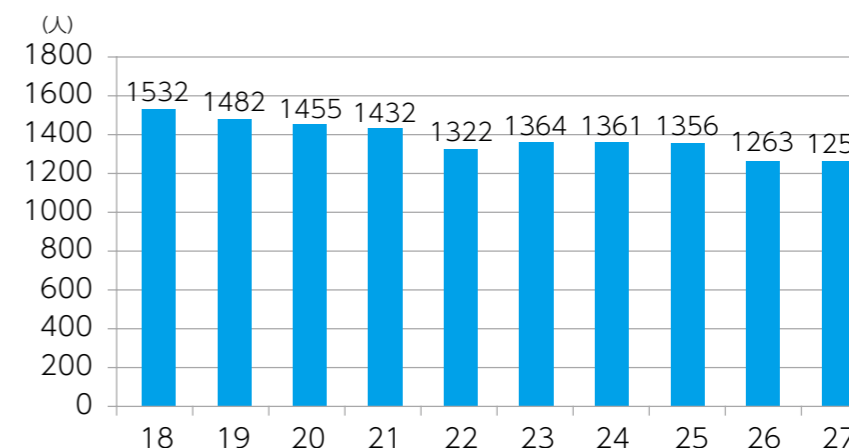
＜一般成人…平成17年度＞



＜一般成人…平成27年度＞



＜総合型地域スポーツクラブ NPO法人スポネットせいろうの年度別会員数分布＞



(単位：年度)





**【施策の方向】**

・現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

- (1) 総合型地域スポーツクラブの充実に対する支援
- (2) 総合型地域スポーツクラブの円滑な運営への支援
- (3) スポーツによる地域づくりに向けた連携
- (4) 地域の特色となるスポーツイベントの委託

**【具体的施策】** 主管課：社会教育課 連携：保健福祉課

・施策を展開するための主な取組を示します。 ◎は重点項目

| No. | 主な取組   |
|-----|--|
| ①   | ◎レクリエーションスポーツ、手軽に楽しめるスポーツなど、誰もが気軽に楽しめるスポーツ講座やイベントの実施・普及に対する取組を支援します。     |
| ②   | 総合型地域スポーツクラブを支援するとともに、クラブ間のネットワークを形成し、連携体制を強化します。                        |
| ③   | 総合型地域スポーツクラブの円滑な運営に必要な熱意と知識・技術を有する人材の育成を支援します。                           |
| ④   | 各種団体と連携した地域づくり事業を展開し、「連帯感や一体感を形成する力」をコミュニティの活性化を図ります。                    |
| ⑤   | する・競う・支える・みるなど、様々な立場や役割で町民がかかわるスポーツイベントを業務委託し、地域コミュニティの形成・活性化への取組を支援します。 |



**2 スポーツボランティアの育成**

**【現状と課題】**

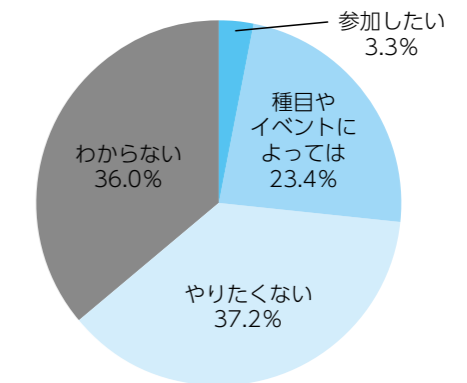
(1) スポーツボランティア活動に対するアンケート調査では、37.2%の人は「やりたくない」と答えています。しかし、26.7%の人が「参加したい」「種目やイベントによっては参加したい」と答えています。そこで、町民がスタッフとして大会やイベントに気軽に参加できる体制づくりを進め、スポーツボランティアを育成していくことが必要です。

(2) スポーツ推進委員が中心となり、町民のスポーツニーズの拡大やスポーツ環境の変化に対応した新しい視点でのスポーツボランティアの養成が必要です。

(3) 障がいのある人や高齢者などのスポーツ参加を支援するスポーツボランティアの養成が必要です。

(4) スポーツイベントにおいては、各スポーツ団体が協力して運営を行っています。今後は、一般町民の参加を促すことによってスポーツへの関心を高めるとともに、スポーツを通じた交流が必要です。

＜あなたは、ボランティアとして、スポーツイベントや大会に参加できますか＞  
(一般成人)



**【施策の方向】**

・現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

- (1) スポーツボランティア環境の整備
- (2) スポーツボランティア活動の推進
- (3) スポーツボランティアの人材確保・育成支援

**【具体的施策】** 主管課：社会教育課 連携：スポネットせいろう

・施策を展開するための主な取組を示します。 ◎は重点項目

| No. | 主な取組   |
|-----|--|
| ①   | スポーツボランティアに参加したりすることができる環境の整備を図ります。                                    |
| ②   | ◎スポーツ推進委員、スポーツ少年団、各種団体が連携しながら、スポーツボランティアの活動の推進を図ります。                   |
| ③   | スポーツボランティアの活動や募集情報を広く紹介・周知することにより、スポーツボランティアの魅力や意識啓発を図り、人材の確保・育成に努めます。 |



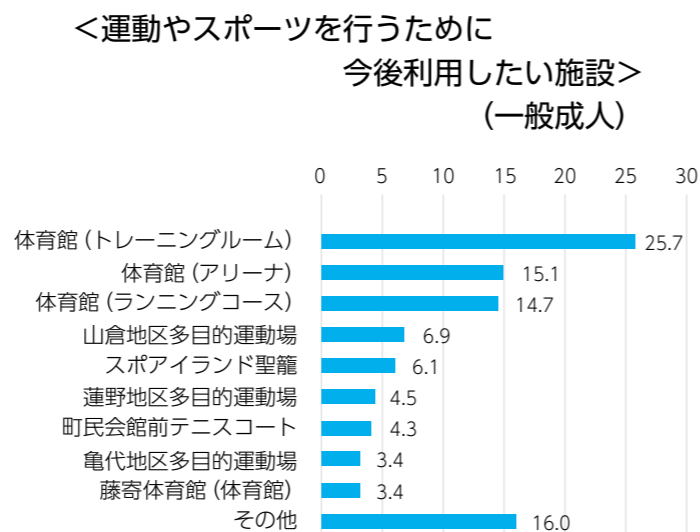
### 3 スポーツ施設の整備・充実

#### 【現状と課題】

(1) 町民のスポーツ愛好者にとって、安心・安全に利用しやすい身近なスポーツ施設の整備充実が必要です。

(2) 町民のニーズや利用状況、施設に求められる機能や役割などを検証し、更なる利用者のサービス向上に努めます。また、スポーツイベントやスポーツ交流等利用、各種大会等開催も可能な施設として維持・整備が必要です。

(3) 今後、利用したい体育施設としては、トレーニングルームが25.7%、総合体育館が15.1%となっています。また、各地区多目的屋内運動場を利用したいという割合も多くなっています。



#### 【施策の方向】

・現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

- (1) 既存スポーツ施設の有効活用
- (2) 学校開放施設等の管理・運営
- (3) 学校開放の促進

#### 【具体的施策】 主管課：社会教育課 連携：子ども教育課

・施策を展開するための主な取組を示します。 ◎は重点項目

| No. | 主な取組  |
|-----|---|
| ①   | ◎総合体育館等の町営スポーツ施設の一般利用の拡大を含めた施設利用の改善を図ります。         |
| ②   | 施設の運営・管理について、利用する町民の意見を取り入れて改善します。                |
| ③   | 地域スポーツクラブの活動拠点として、学校体育施設、多目的屋内運動場の開放を促進します。       |
| ④   | トイレ、体育館、玄関等のバリアフリー化や更衣室などの付帯施設の改修や管理方法等の見直しを進めます。 |

### 4 スポーツ情報の提供

#### 【現状と課題】

(1) 町民がスポーツをみるにしても、するにしても「いつ、どこで、何が、どのようにして」あるいは、「どこで、だれが、どのようにして」の情報入手が必要不可欠です。町広報「学びカレンダー」、「社会教育だより」、月刊紙「スポネットせいろう」、「施設内の掲示物」等により、事業に関する情報提供を行っています。

(2) 町民会館ホームページを開設し、体育施設等の情報提供を行っています。

(3) スポーツ情報ネットワークの構築にあたって、スポーツにかかわる町民がより身近に、快適に利用できるものにするとともに、スポーツにかかわらない町民も興味や関心をもってもらえるような情報システムの構築が必要です。

#### 【施策の方向】

・現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

- (1) スポーツ機会、施設、事業等の計画的な情報の提供
- (2) スポーツ情報提供事業の充実

#### 【具体的施策】 主管課：社会教育課 連携：スポネットせいろう

・施策を展開するための主な取組を示します。 ◎は重点項目

| No. | 主な取組  |
|-----|---|
| ①   | ◎広報の掲載を計画的に行います。(「社会教育だより」月刊紙「スポネットせいろう」など)                           |
| ②   | 町民会館ホームページの内容(施設案内、施設の予約状況案内、施設予約)などの充実を図ります。                         |
| ③   | 町民会館のホームページやスポーツ施設間のオンラインネットワーク化、スポーツに対する相談体制を整備し、スポーツ情報提供事業の充実を図ります。 |



## 5 フィジカルフィットネスサポートの充実

### 【現状と課題】

- (1) 生涯にわたりスポーツに親しむために、町民による主体的な健康習慣づくりが必要です。
- (2) 下記のグラフは、トレーニングルーム利用者の体力測定の結果の推移です。10年前と比較すると30歳～40歳後半の年齢で体力の低下が見られます。特に40歳代の背筋力の落ち込みが大きく、町民のアンケートでも多くの方が体力診断テスト、基礎体力づくりを望んでいます。今後、町民にフィジカルフィットネスチェックの機会を提供すると共に、20歳代からの運動機会を提供していく必要があります。

### <体力測定の結果の推移（トレーニングルーム利用者）>

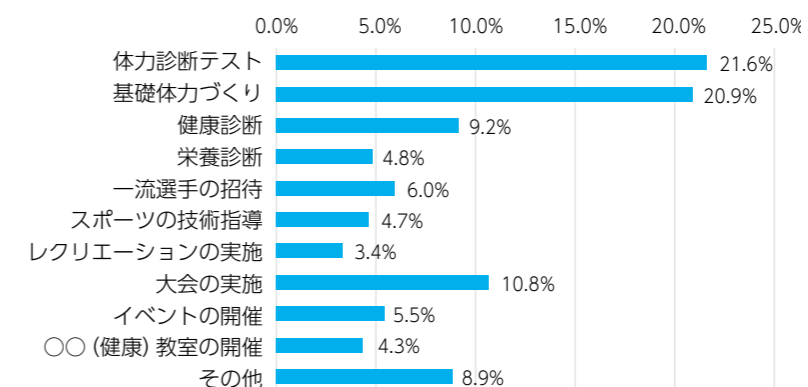
男性集計結果 集計期間 ①平成17年4月1日～平成18年3月31日 ②平成26年4月1日～平成27年3月31日

| 種目       | 10歳～19歳 |       |      | 20歳～29歳 |       |      | 30歳～39歳 |       |      | 40歳～49歳 |       |       | 50歳～59歳 |       |     | 60歳～69歳 |       |      |
|----------|---------|-------|------|---------|-------|------|---------|-------|------|---------|-------|-------|---------|-------|-----|---------|-------|------|
|          | ①       | ②     | 比較   | ①       | ②     | 比較   | ①       | ②     | 比較   | ①       | ②     | 比較    | ①       | ②     | 比較  | ①       | ②     | 比較   |
| 握力(左右平均) | 37.5    | 44.9  | 7.4  | 48.0    | 48.8  | 0.8  | 46.9    | 46.6  | -0.3 | 50.0    | 45.3  | -4.7  | 45.3    | 47.2  | 1.9 | 40.8    | 42.0  | 1.3  |
| 背筋力      | 103.7   | 105.3 | 1.6  | 135.1   | 129.5 | -5.6 | 128.4   | 125.2 | -3.2 | 128.4   | 113.1 | -15.3 | 107.7   | 116.2 | 8.5 | 104.7   | 111.1 | 6.4  |
| 反復横跳び    | 45.3    | 48.6  | 3.3  | 40.8    | 45.1  | 4.3  | 35.8    | 39.2  | 3.4  | 37.2    | 37.9  | 0.7   | 35.6    | 38.3  | 2.7 | 28.8    | 31.4  | 2.6  |
| 垂直跳び     | 54.1    | 59.6  | 5.5  | 57.0    | 55.9  | -1.1 | 52.2    | 51.6  | -0.6 | 50.2    | 47.1  | -3.1  | 43.5    | 44.5  | 1.0 | 38.9    | 38.0  | -0.9 |
| 体前屈      | 40.1    | 42.9  | 2.8  | 37.5    | 37.9  | 0.4  | 34.4    | 35.3  | 0.9  | 38.0    | 35.7  | -2.3  | 32.2    | 37.3  | 5.1 | 33.6    | 30.9  | -2.7 |
| 最大酸素摂取量  | 49.3    | 45.9  | -3.4 | 42.9    | 39.7  | -3.2 | 38.0    | 38.9  | 0.9  | 36.0    | 38.2  | 2.2   | 36.8    | 37.3  | 0.5 | 32.5    | 31.3  | -1.2 |

女性集計結果 集計期間 ①平成17年4月1日～平成18年3月31日 ②平成26年4月1日～平成27年3月31日

| 種目       | 10歳～19歳 |      |       | 20歳～29歳 |      |      | 30歳～39歳 |      |       | 40歳～49歳 |      |      | 50歳～59歳 |      |      | 60歳～69歳 |      |      |
|----------|---------|------|-------|---------|------|------|---------|------|-------|---------|------|------|---------|------|------|---------|------|------|
|          | ①       | ②    | 比較    | ①       | ②    | 比較   | ①       | ②    | 比較    | ①       | ②    | 比較   | ①       | ②    | 比較   | ①       | ②    | 比較   |
| 握力(左右平均) | 27.2    | 27.9 | 0.7   | 27.5    | 27.3 | -0.2 | 28.6    | 27.3 | -1.4  | 28.4    | 27.8 | -0.6 | 25.9    | 27.9 | 2.0  | 24.3    | 24.9 | 0.6  |
| 背筋力      | 66.5    | 54.8 | -11.7 | 65.7    | 59.2 | -6.5 | 70.8    | 60.6 | -10.2 | 70.6    | 63.3 | -7.3 | 64.2    | 59.0 | -5.2 | 63.0    | 56.2 | -6.8 |
| 反復横跳び    | 36.2    | 42.3 | 6.1   | 32.4    | 36.3 | 3.9  | 32.7    | 32.7 | 0.0   | 33.5    | 32.4 | -1.1 | 28.7    | 31.3 | 2.6  | 24.9    | 28.6 | 3.7  |
| 垂直跳び     | 41.5    | 38.7 | -2.8  | 40.4    | 37.4 | -3.0 | 37.5    | 34.4 | -3.1  | 34.6    | 34.3 | -0.3 | 29.3    | 31.3 | 2.0  | 26.1    | 26.1 | 0.0  |
| 体前屈      | 40.4    | 37.4 | -3.0  | 37.4    | 38.8 | 1.4  | 37.4    | 37.7 | 0.3   | 38.7    | 36.8 | -1.9 | 36.7    | 36.2 | -0.5 | 39.4    | 37.2 | -2.2 |
| 最大酸素摂取量  | 34.8    | 29.1 | -5.7  | 32.2    | 31.3 | -0.9 | 31.9    | 30.1 | -1.8  | 31.1    | 28.7 | -2.4 | 28.0    | 29.0 | 1.0  | 31.0    | 27.6 | -3.4 |

<あなたは、スポーツに関するどのようなサービスを受けたいですか（一般成人）>



### 【施策の方向】

- ・現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

- (1) 町民の運動やスポーツの実態調査
- (2) 関係機関との連携

### 【具体的施策】

主管課：社会教育課 連携：保健福祉課、社会福祉協議会、スポネットせいらう

- ・施策を展開するための主な取組を示します。

◎は重点項目

| No. | 主な取組  |
|-----|---|
| ①   | ◎関係機関と連携し、体力測定やスポーツ相談などを定期的実施し、町民にフィジカルフィットネスチェックの機会を提供します。 |
| ②   | 関係機関と連携し、生活習慣や食生活を工夫する機会を提供します。                             |





## 6 民間組織との連携

### 【現状と課題】

(1) 地域のスポーツ環境を充実させるためには、「産学官民」が、スポーツ推進に関して、保有する様々な資源を最大限活用して連携・協働を強化し、好循環の創出を図ることが必要です。

(2) 本町はJAPANサッカーカレッジや新潟スポーツコミュニティ等と連携しやすい環境にあります。これらの民間組織が、人的・物的資源を地域に提供されることにより、地域に根ざした企業活動に結び付けることが期待できます。

(3) 高齢化社会を迎え、健康に関する専門的な地域・理解を深めるため専門機関との連携が不可欠です。

### 【施策の方向】

・現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

- (1) 利用者のニーズに応える環境整備
- (2) 専門学校や大学等との連携
- (3) 医療機関や研究機関等との連携

**【具体的施策】** 主管課：社会教育課 連携：民間などの関係団体

・施策を展開するための主な取組を示します。 ◎は重点項目

| No. | 主な取組   |
|-----|--|
| ①   | JAPANサッカーカレッジ、新潟スポーツコミュニティ等と連携し、利用者ニーズに応えられる環境整備を進めます。 |
| ②   | 専門学校や大学等と連携を図り、スポーツ活動における活動場所の拡大と事業の充実を図ります。           |
| ③   | ◎町の医療機関や福祉関係、研究機関等と連携し、高齢化に対応した事業の充実を図ります。             |



## 7 行政組織・機関の整備

### 【現状と課題】

(1) 事業を効果的・効率的に展開していくためには、町からの委託事業を担う「スポネットせいろう」や関係部署、各組織が主体的立場を発揮し、他の行政機関の計画と整合性をもたせる調整機能が重要です。

(2) 関連する機関との事業連携・協力体制を築き、継続的に生涯スポーツを推進するため、必要に応じた推進組織の整備が必要です。

(3) 町民の多種多様なスポーツニーズに応えるために、スポーツについての専門的な知識を有する職員の配置が求められています。

(4) 地域に根ざしたスポーツ交流事業を進めていくためには、スポーツ推進委員、スポネットせいろうの役割が重要です。

### 【施策の方向】

・現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

- (1) 行政関係機関推進組織の推進事業の促進
- (2) 既存施設の活用
- (3) 関係部署との連携
- (4) 講習会や研修会への参加
- (5) スポーツ安全推進体制の整備

**【具体的施策】** 主管課：社会教育課 連携：スポネットせいろう

・施策を展開するための主な取組を示します。 ◎は重点項目

| No. | 主な取組   |
|-----|--|
| ①   | ◎推進計画に基づく事業の具体化に向けた調整をします。   |
| ②   | 行政機関の協力・連携体制を具体化します。   |
| ③   | 生涯スポーツ関連事業及び情報の連絡調整をします。   |
| ④   | 町総合体育館を中心とした社会体育施設（スポアイランド聖籠、野球場、テニスコート、各多目的屋内運動場）や学校体育施設を競技スポーツ・生涯スポーツの中核施設として位置付けます。 |
| ⑤   | ◎町の既存の施設を活用し、生涯スポーツ推進計画に基づいて、スポーツの普及を進めます。   |
| ⑥   | 関係部署・関係機関が連携を深め、効果的な事業の推進をします。   |
| ⑦   | 町スポーツ推進委員や指導者の積極的な講習会や研修会への参加を促し、専門的な知識や技能の習得と資質向上を図ります。                               |
| ⑧   | スポーツ事故に対する傷害保険・賠償責任保険等への加入促進と施設の安全管理の強化を進め、スポーツ安全推進体制の整備を継続します。                        |



## 第5節 みるスポーツ

### 【基本方針】

スポーツをみる機会、交流機会の拡大を図り、生涯スポーツの意識を高めていきます。

聖籠町では「みる」スポーツを、国際大会や全国規模の大会を誘致し、地元プロスポーツチームとの連携を推進し、トップアスリートのプレイを見ることで、感動と興奮を共有し、触れ合いや地域の交流を促進することが「みる」スポーツと考えています。

従来、スポーツに対する一般的な意識・概念として、「スポーツは実際に行うこと」「やってみてこそ、初めてスポーツ」という考え方が根強かったようです。しかし、近年、聖籠町にプロサッカーのアルビレックス新潟を招致するなど、地元プロスポーツチームの活躍をとおり「スポーツをみること」が生活を明るく豊かにするという事に気付きました。スポーツをみることで得る感動と興奮を共通の話題として共有し、家族の触れ合いや地域の交流により、健康で豊かな生活を生み出しています。

このことから、国際大会等を積極的に招致・開催するなど、「みる」というスポーツ行動に視点を当てたスポーツ推進施策を展開していきます。

「スポーツに満ちたまち 明るく豊かなまち」の実現に向けて、「みる」スポーツでは、次の数値目標を定めます。

|   | 評価指標  | 現在値 (平成27年度) | 目標値 (平成37年度) |
|---|---|--------------|--------------|
| ① | 国際大会・全国大会規模等の開催数                            | 1            | 5            |
| ② | プロスポーツ大会の招致回数                               | 1            | 2            |
| ③ | トップアスリートによる講演会・講習会の回数                       | 3            | 5            |
| ④ | 地元のプロスポーツの応援回数<br>(アルビレックス新潟、アルビレックス新潟レディス) | 2            | 4            |

## みるスポーツ

### 【現状と課題】

#### (1) アルビレックス新潟のホームタウン

- ① 新潟聖籠スポーツセンターのアルビレッジは、サッカー場6面と陸上トラックなどがある施設です。主にサッカー大会の会場や練習場として利用されています。
- ② 町は、アルビレックス新潟のホームタウンとして、町民にも身近な存在となっています。練習日には、町内外から多くのサッカーファンが見学に訪れています。
- ③ 町は、プロサッカーチームの試合観戦や情報提供などのサービスを行っています。また、「広報聖籠」、「社会教育だより」、月刊紙「スポネットせいろう」に、イベントガイドなどを掲載し、「みるスポーツ」として活用できるよう情報を提供しています。

#### (2) 町のスポーツ施設

- ① 町の総合体育館の前には、天然芝の運動場「スポアイランド聖籠」があります。国際ユースサッカー大会や様々な大会で利用されています。
- ② 現在のスポーツ施設・設備は、町民の日常的なスポーツ活動のための施設としてほぼ充足されていますが、公式的な競技ができる施設としては不十分です。今後、公式大会の招致等を積極的に行っていくには、スポーツ施設の充実と宿泊施設の充実が必要です。

### 【施策の方向】

・現状と課題を考察し、その改善・解決に向けて、施策の方向を位置付けます。

- (1) 国内外のトップレベルのスポーツ大会の招致・開催
- (2) プロスポーツ選手による講習会や研修会の開催
- (3) みるスポーツの環境整備

### 【具体的施策】 主管課：社会教育課 連携：スポネットせいろう

・施策を展開するための主な取組を示します。 ◎は重点項目

| No. | 主な取組  |
|-----|---|
| ①   | ◎トップアスリートによるハイレベルな大会の招致や開催支援を行い、夢や希望を与え、自らスポーツに取り組む意欲を高めます。 |
| ②   | 町民に有意義な「みるスポーツ」としてのイベントを提供するため、町民の意見を取り入れ、効率的な開催・招致を進めます。   |
| ③   | 町出身の知名度の高い競技選手や優秀選手、プロスポーツ選手による講習会や研修会などを開催します。             |
| ④   | ◎プロサッカーチームの試合観戦や幅広い効果的な情報の提供により、スポーツへの関心を高めま                |
| ⑤   | 公式競技が開催できるようスポーツ施設の充実を図ります。                                 |

---

# 資料編

---

## 1 これまでの取り組み

### (1) するスポーツ

《計画策定時（平成18年度）の現況と課題》

少子高齢化や情報化の進展など社会環境の急激な変化、生活習慣病の増加や子どもの体力低下が叫ばれる中、心身共に健康な身体づくりやリフレッシュのためのスポーツ活動を重視してきました。

具体的には、①気軽にできるスポーツ、②競う（競技）スポーツ、③親子で楽しめるスポーツ、④高齢者スポーツ、⑤障がい者スポーツ に分類し、施策を進めてきました。

《主な取組状況》

「町民（成人）の50%が1週間に1回以上スポーツをする」を目標とし、町民が気軽にスポーツに親しみ、楽しめる環境づくりに努めるとともに各種イベントを開催するなどの取組を進めました。

＜気軽にできるスポーツ＞ & ＜親子で楽しめるスポーツ＞

町民の誰でもが、いつまでも健康でありたいという願いから、子どもから高齢者までが身近な場所でスポーツに親しめるよう、町内のスポーツ団体やスポーツ推進委員、町の社会教育課が中心となり、「スポレク祭」をはじめとする各種スポーツ・レクリエーションを企画しました。

また、「総合型地域スポーツクラブ NPO 法人スポネットせいろう」が設立され、地域の住民のニーズに応じて、各種事業を展開してきました。

＜スポレク祭参加者人数の推移＞

| 開催年度   | 参加人数   |
|--------|--------|
| 平成27年度 | 1,500人 |
| 平成26年度 | 1,100人 |
| 平成25年度 | 1,500人 |
| 平成24年度 | 1,300人 |
| 平成23年度 | 1,100人 |

□中間期に当たる平成23年度の進捗状況では、幼児対象の事業が少なく、「親子野外スポーツ体験ツアー」に関しては、実施が難しいという状況でした。そこで、「スポレク祭」などのイベントを利用して、多くの幼児や親子がスポーツに触れ、楽しめる機会が増える施策を進めました。



<競う（競技）スポーツ>

スポーツ人口の拡大を図るとともに、各年代が継続的に指導を受けられるよう一貫した指導体制を確立し、競技力の向上を図ります。

町とスポネットせいらうが中心となり、時代を担うジュニア選手の育成・強化を目的とした各種大会（野球、ソフトテニス、バスケットボール、剣道等）を実施してきました。

□指導者の育成・確保

- ・小学生の指導者を中心に、指導者や審判の養成講習会への参加を促進することで、指導者の資質向上を図っています。
- ・国際大会や全国大会で入賞する選手を毎年のように輩出することができていることから、一貫指導体制が確立されているといえます。



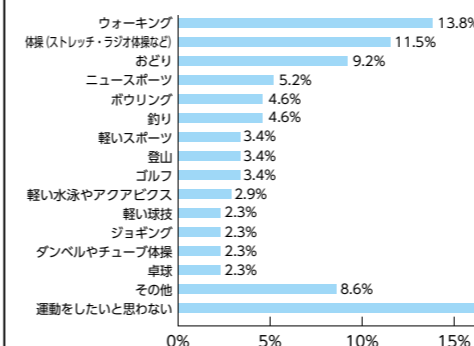
<高齢者スポーツ>

高齢者の「健康教室」を開催するなど、健康維持のためのスポーツ人口の増加を目指してきました。

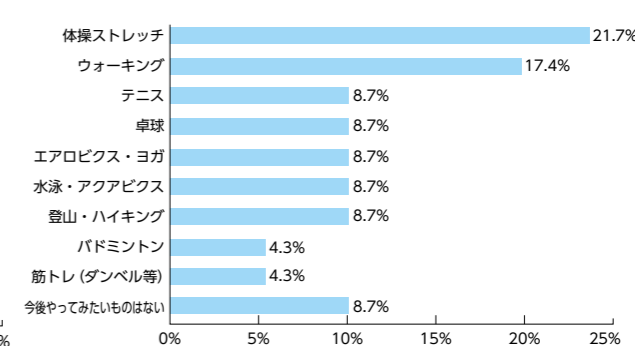
中間期の進捗状況では、他機関との連携が不足しているということが分かります。そこで、連携を強化するために社会教育課、保健福祉課、スポネットせいらうの3者で定期的に情報交換会を開催し、連携してきました。

(図) 今後行ってみたい運動やスポーツ（60歳～75歳）

平成17年度



平成27年度



□分析（平成17年度と平成27年度の比較等）

ウォーキングや体操などの軽運動を行いたいとするデータが依然として高いことや他の種目にも一定数の関心がある人数は変わらないものの、「運動をしないとしない」が、11.5%減っています。

運動機会の提供としては、グランドゴルフ大会、ゲートボール大会、卓球大会、健康教室、健康ウォーキングなど、年間を通して事業を行っています。健康づくりに関する情報提供とあわせて、運動の習慣化を促すための啓発活動が必要です。

<障がい者スポーツ>

□中間期の進捗状況では、保健福祉関連計画とスポーツ振興計画ともに取組が明記されていますが、実施には至っていません。そこで、他市町村の事例を調査し、保健福祉課等と連携・情報を共有しながら、指導者育成のための講習会等への積極的な参加を促します。

今後、障がいのある人たちが、スポーツを通して健康づくりや生きがいづくりができるような支援が必要です。

- ・保健福祉課（社会福祉協議会）の取組（軽い運動と食育）

## (2) 支えるスポーツ

＜計画策定時（平成18年度）の現況と課題＞

少子高齢化が進み、生活習慣病の増加、子どもの体力の低下など健康維持・増進のためのスポーツ活動に対する町民のニーズが高まっている中、地域において気軽にスポーツに親しめる組織づくりや新潟の気候、風土に適したスポーツ環境の整備が求められていました。

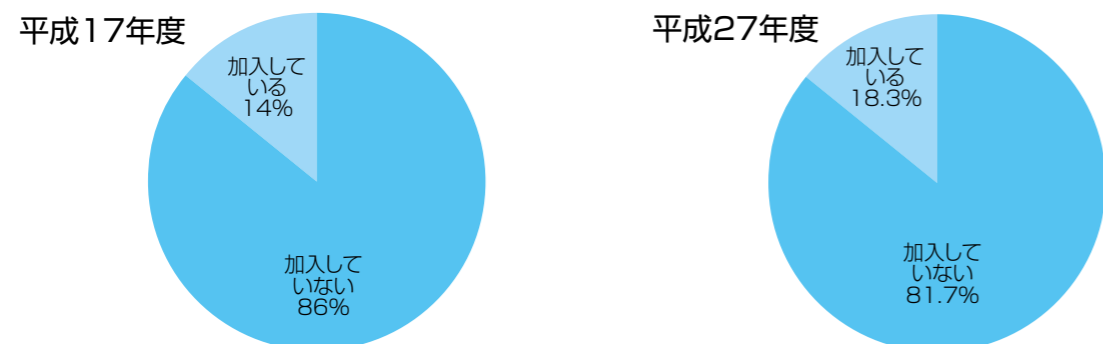
＜主な取り組み状況＞

子どもからお年寄りまでが身近な場所でスポーツに親しめるよう、企画・立案・調整役を担う「総合型地域スポーツクラブNPO法人スポネットせいらう」を設置し、推進体制を確立しました。また、雨天や冬場でもスポーツに親しみ楽しめる施設の整備を推進してきました。

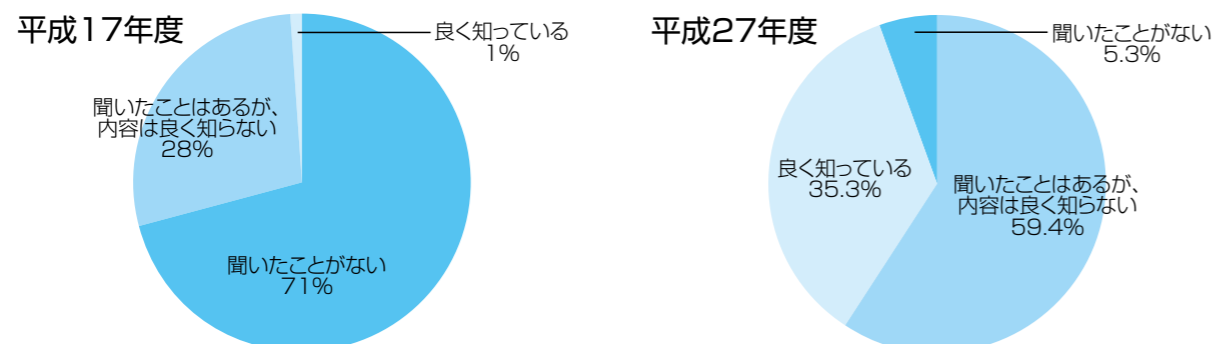
＜総合型地域スポーツクラブの設置＞

平成18年度、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツ活動に参加することができる環境づくりを目指し、聖籠町における生涯スポーツ活動の振興や地域住民の健全な心身の発達と健康の保持・増進、コミュニティづくりを目的として設立されました。中間期の進捗状況では、会員数としては1,300人を越えましたが、新規の会員が増加しない状況にありました。その後、総合型地域スポーツクラブNPO法人スポネットせいらうについての啓発運動を行った結果、アンケートでは「聞いたことがない」と答えた人が、71%から5.3%まで減少しました。

●あなたは運動やスポーツに関するクラブや同好会、各種スポーツ連盟・協会に加入していますか。（一般成人）



●総合型地域スポーツクラブを知っていますか（一般成人）



## ＜指導者の養成・確保＞

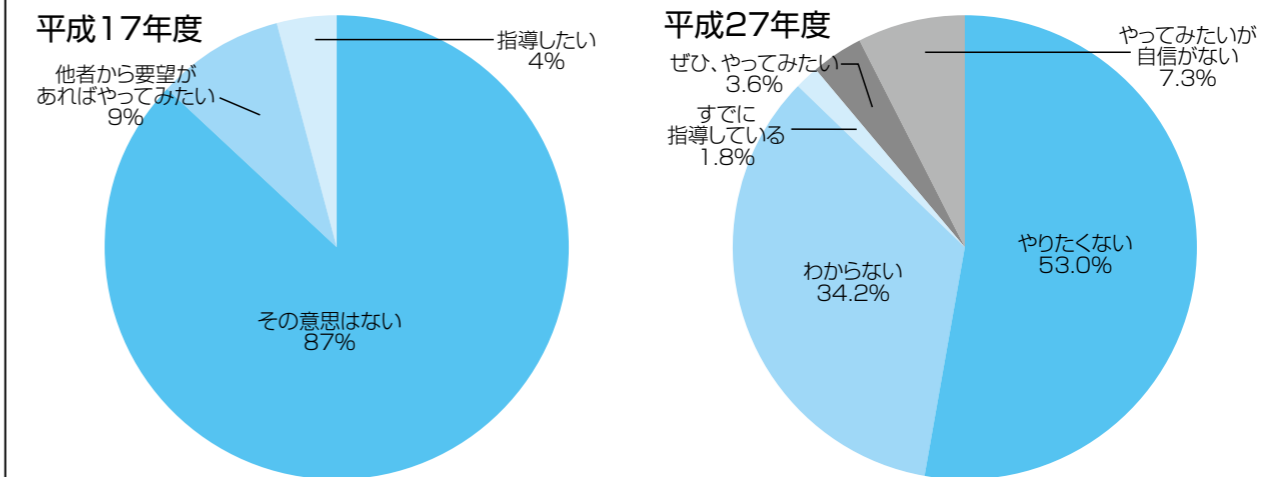
自主的な地域活動の促進、スポーツを自由に楽しむ環境づくりに重点をおいた指導者の発掘及び養成・確保をすることを推進してきました。

中間期における進捗状況は以下の通りです。

- 1 専門的な指導者の確保が必要
- 2 障がい者スポーツ指導員がいない

以上のことから、障がい者に関する情報収集に努め、スポーツ推進委員等体育関係者に指導者確保に向けて、講習会・研修会への積極的な参加を促進します。

## ＜指導者としてスポーツイベントやスポーツクラブに参加できますか（一般成人）＞



## □分析

指導者としての参加アンケートでは、前回の「その意志はない」という87%の回答が、53%に減っています。また、「やりたいが自信がない」と回答した人が7.3%います。このことから、スポーツイベントの指導者など参加の機会を増やし、指導者の育成に努める必要があります。また、障がい者のスポーツ推進を図るため、障がい者のスポーツ指導員の養成をしていきます。

## ＜ボランティアの育成＞

スポーツサポーターとしてのボランティアの育成を目指し、進めてきました。

## □募集と研修

中間期の進捗状況では、ボランティアに関する研修等は行われていません。特に必要となる障がい者や高齢者対応に関するボランティアの募集並びに研修について、その方策を調査するとともに、県等主催事業への参加を促進していきます。

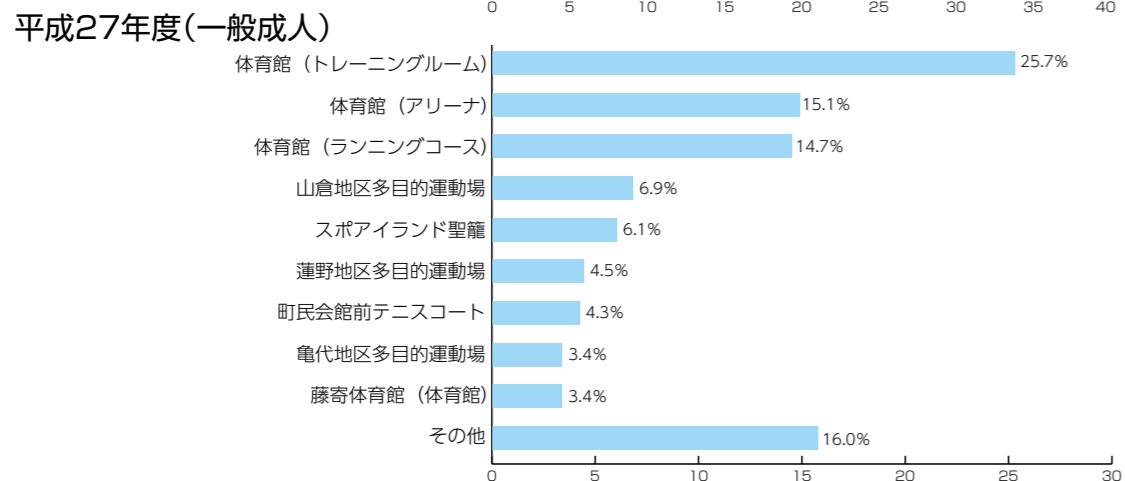
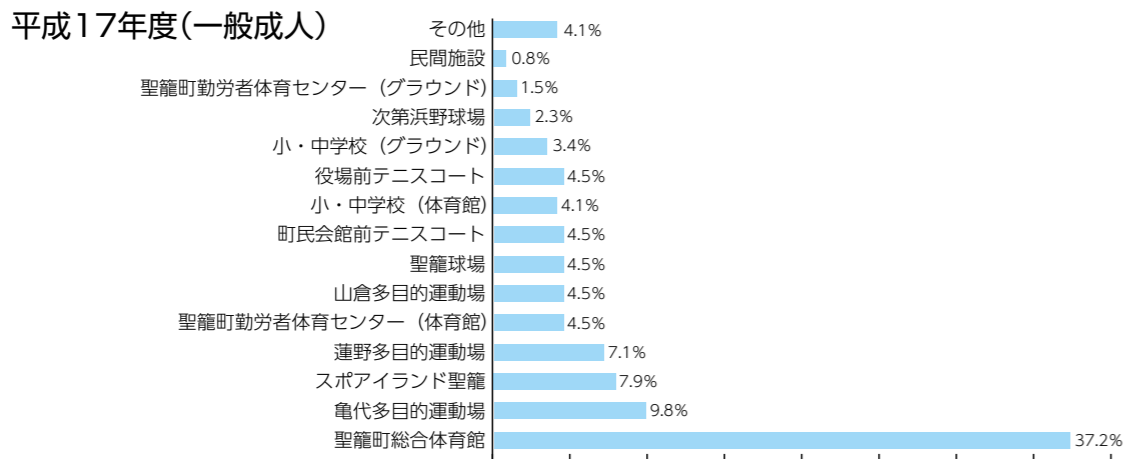


<スポーツ施設の整備・充実>

町民の誰でもが、いつでも、どこでもスポーツを楽しむことができるように、各地域に天候に左右されずに屋外スポーツが行える多目的屋内運動場などを整備してきました。

中間期の進捗状況では、スポーツ推進委員等の体育関係者が更なる施設開放促進のための積極的なPR活動を展開していくことが確認されました。また、他施設と同様に藤寄体育館の日曜開放も検討していきます。

(図) 運動やスポーツを行うために今後利用したい施設



●トレーニングルーム利用状況

2004年の17,072人に対して2015年の利用状況は24,181人と、増加傾向にあります。

健康志向の高まりからか、2011年を境に利用者・新規入会者が増え、多くの町民の健康づくりに欠かすことのできない施設になっています。利用者の増加に伴い機器の老朽化が進んでいます。



<プロスポーツとの連携>

小・中学生の健全育成と親子のふれあい等を目的として、「読売巨人軍の町出身選手」による、「野球教室」や「アルビレックス新潟」に代表されるプロスポーツチームと連携して、「親子観戦招待事業」を開催しました。

さらに、バスケットボールbjリーグの「新潟アルビレックスBB」リーグ戦を招致し、前座に小・中学生によるエキシビションを行うなど、夢や希望、感動を与え、アイデンティティを高めてきました。

また、プロスポーツと連携することにより、スポーツ意識の高揚を促し、広く指導できるよう体制づくりを目指してきました。

□ ホームタウン施設の利用促進

中間期の進捗状況では、プロスポーツの施設の利用は、料金面、施設管理面等で難しいのが現状です。今後、町民がプロ施設の使用機会が確保できるよう該当施設と協議していきます。

<スポーツの情報提供>

いつでも、どこでも、自由にスポーツを行うことができる生涯スポーツ環境づくりは、細かな情報提供が求められます。情報の提供と収集手段を積極的に改善していくことを目指してきました。

□ スポーツ情報提供事業の充実

中間期の進捗状況では、インターネット配信による施設情報システムを稼働し、システムを最大限活用して、利用者への情報提供を充実していきます。





<メディカルサポートの充実>

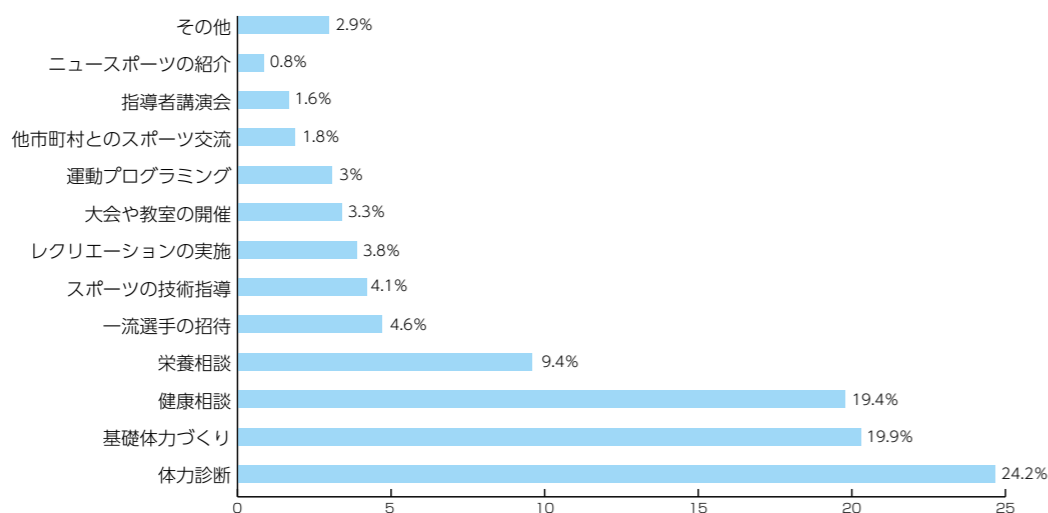
生涯にわたり、スポーツに親しむためには、町民による主体的な健康習慣づくりが必要です。その目標として、健康づくりを目的とした活動を充実することを目指してきました。

□体力測定とフィジカルフィットネスチェックの定期的な開催

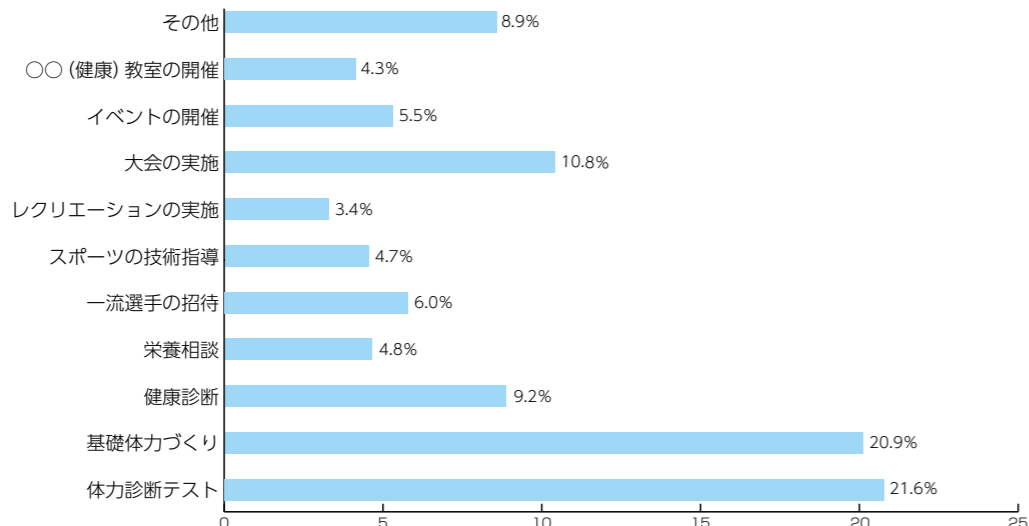
中間期における進捗状況では、スポネットせいろうが主催する健康づくり教室の参加者が減少傾向にあります。啓発活動を充実させ、健康づくりの必要性を広く町民に周知し、積極的な参加の呼びかけを行います。

(図) あなたは、スポーツに関するどのようなサービスを受けたいですか。

<平成 17 年度> (一般成人)



<平成 27 年度> (一般成人)



□分析

・体力診断・基礎体力づくり・栄養相談など、健康に関する項目が依然として高い傾向にあります。今後も体力測定やスポーツ相談などを定期的実施することで、町民にフィジカルフィットネスチェックの機会を提供することが必要です。

(3) みるスポーツ

<<計画策定時(平成 18 年度)の現況と課題>>

プロスポーツ大会や国際大会をはじめ、平成 21 年に国内最大のスポーツの祭典である国民体育大会のいくつかの競技会を本町で開催するなど、トップアスリートの競技をみる機会や他県選手団との交流の場などを提供することにより、みるスポーツの楽しさを知り、町民だれもが生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で豊かに暮らせるようにスポーツの普及及び啓発を図ることを進めることとしました。

<<主な取り組み状況>>

平成 21 年の「トキめき新潟国体」、bj リーグバスケットリーグ戦、国際サッカーユース in 新潟をはじめ全国規模の大会を開催したことにより、県内外から多数の関係者が訪れ町民との交流を深めるとともに、トップアスリートのプレイをみる格好の機会を提供できました。

□主な大会等

●第 64 回国民体育大会

- ・種目…………女子サッカー、フェンシング、セーリングの開催
- ・小・中学生による応援及び観戦

●国際ユースサッカー大会(2002 年～)

●プロスポーツ

アルビレックス新潟に代表されるプロスポーツチームと連携して、「高齢者招待事業」や「bj バスケットリーグ戦の小・中学生観戦招待事業及び小・中学生による前座試合」を開催しました。



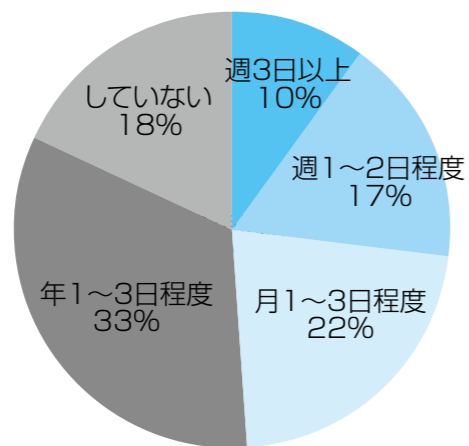
## 2 目標の達成状況と課題

### (1) 町民のスポーツの実施状況

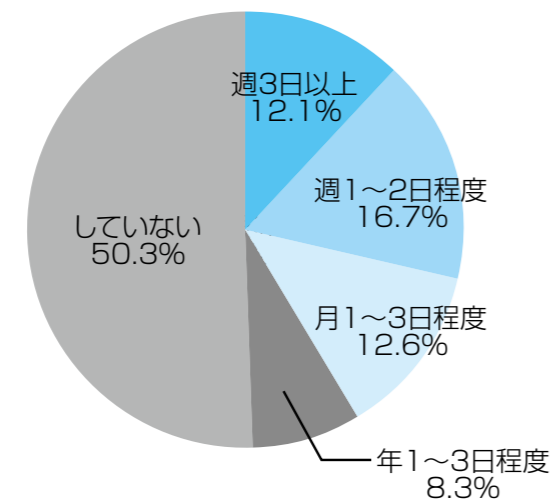
平成 18 年度に策定した前計画の到達目標は、3つの基本方針の推進により、町民（成人）の週 1 回以上のスポーツ実施率を、当時の国のスポーツ振興基本計画の目標値である 50%と設定しました。平成 17 年度に実施した「スポーツに関する町民意識調査」においてのスポーツ実施率は 26.5%でしたが、今回の調査では、28.8%になりました。

(図) この 1 年間の運動やスポーツの実施状況（一般成人）

<平成 17 年度>



<平成 27 年度>



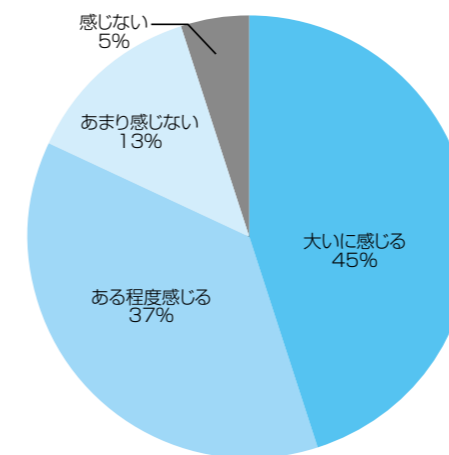
(表) 国・主な都市の運動やスポーツの実施状況（一般成人）

|     |       |
|-----|-------|
| 国   | 47.5% |
| 新潟市 | 47.2% |
| 聖籠町 | 28.8% |

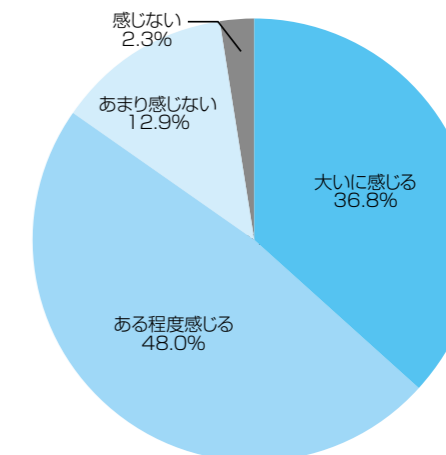
### (2) スポーツの実施率向上に向けて

#### ① 運動不足を感じていますか

<平成 17 年度（一般成人）>

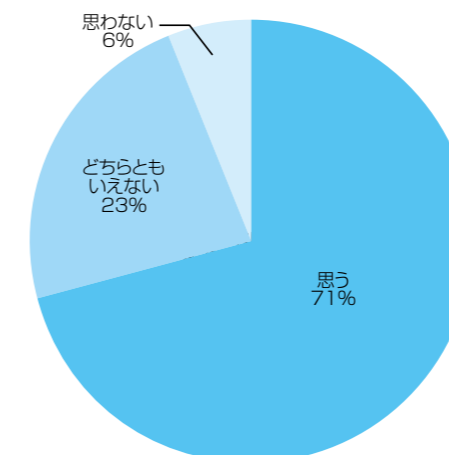


<平成 27 年度（一般成人）>

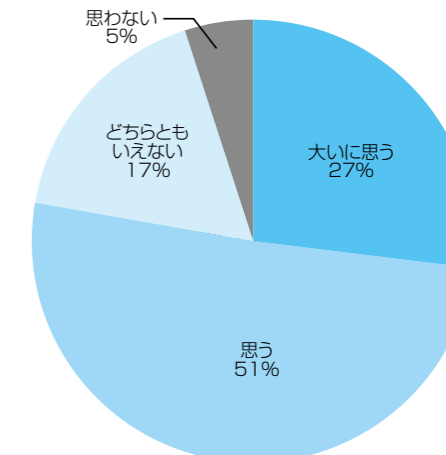


#### ② 定期的な運動やスポーツが必要だと思いますか

<平成 17 年度（一般成人）>



<平成 27 年度（一般成人）>



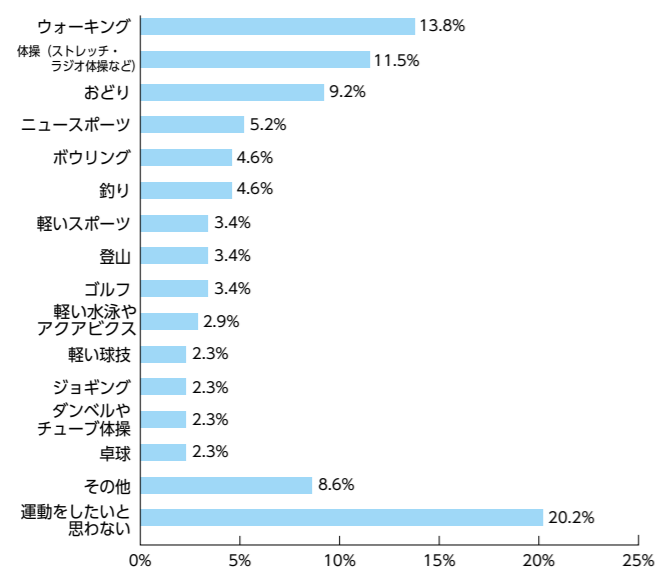
#### □ 分析

前回及び今回のアンケート調査とも、自分の体力や健康について、「運動不足」を感じ、定期的な運動の必要性では、「運動することの必要性」を感じている人が圧倒的に多いことが分かります。運動不足を感じている人が 80%を超え、定期的な運動やスポーツの必要性を感じている人が 70%を超えています。

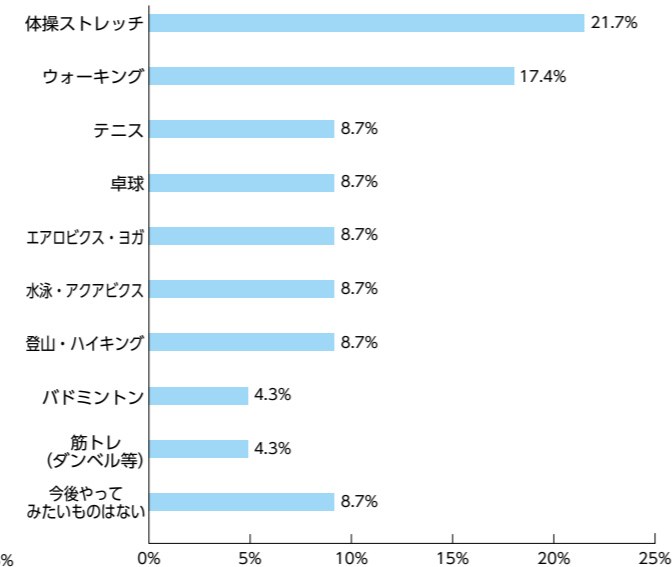
スポーツになじみの薄い人やスポーツをしたくてもきっかけがないという人もいる中で、だれもが、気軽に行うことができる運動やウォーキングなどを含めた、スポーツ活動にかかわることができる「する」スポーツの環境づくりを進めます。

③今後行ってみたい運動やスポーツについて

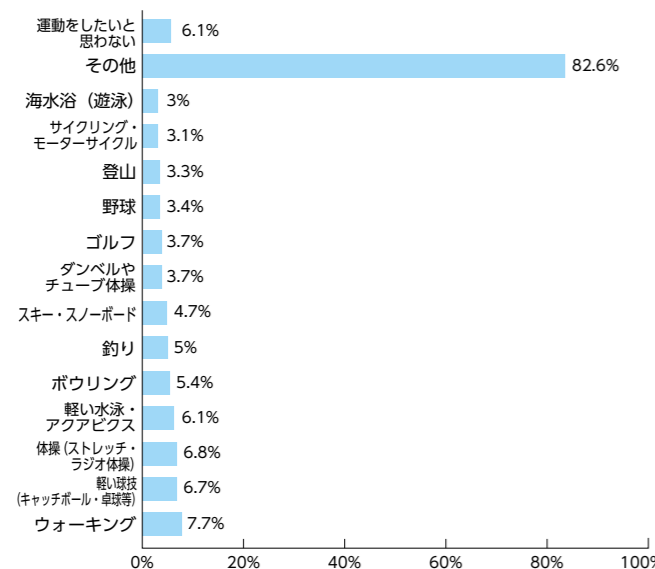
平成 17 年度 高齢者 (60 歳以上)



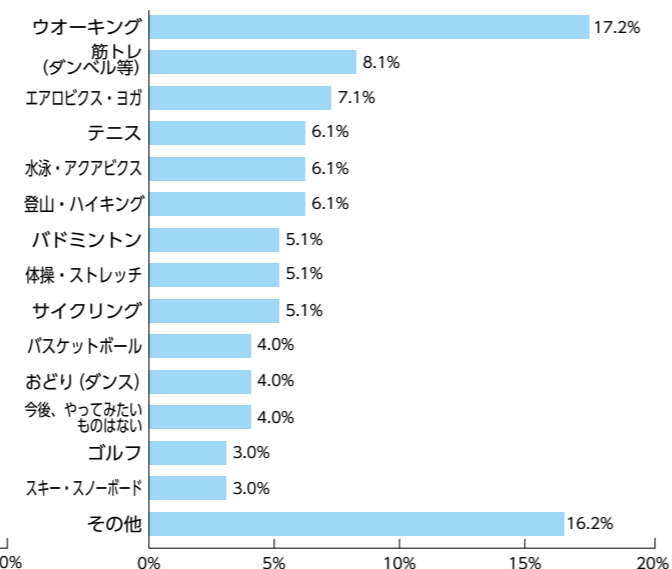
平成 27 年度 高齢者 (60 歳以上)



平成 17 年度 成人 (16 歳～ 59 歳)



平成 27 年度 成人 (16 歳～ 59 歳)



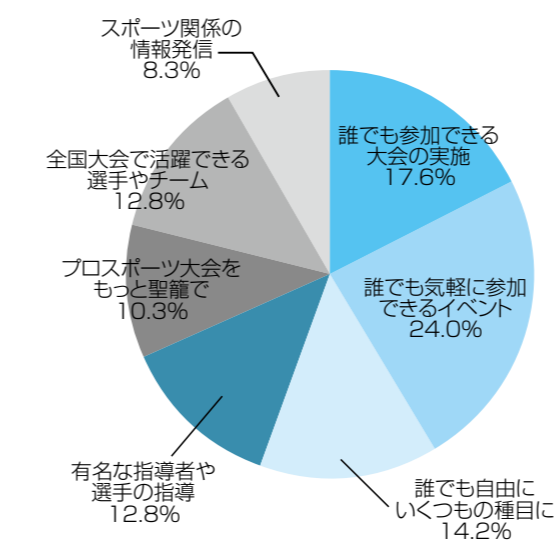
□分析

今後行ってみたい運動やスポーツで高齢者は前回の調査で「運動をしたいと思わない」が 20.2%に対して、今回の調査では、10.8%と大幅に減っている。ウォーキングなど気軽に行える運動やスポーツをやってみようという表れである。今後、町民のニーズを把握し、イベントや大会などに参加できる機会を増やし、運動不足の解消に努めていきます。

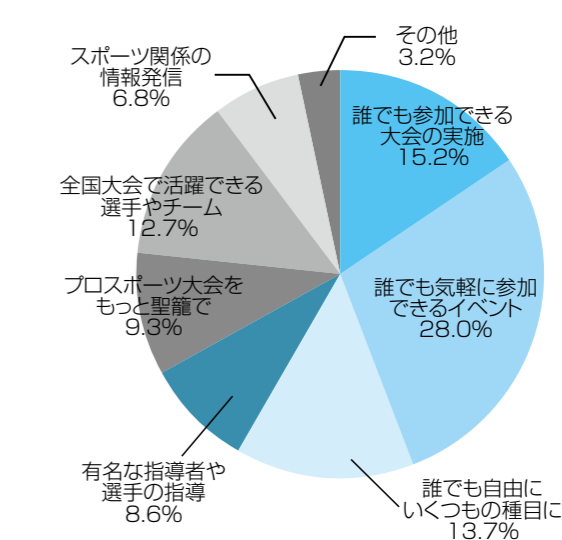
④聖籠町のスポーツを盛んにするにはどうしたらよいか

(図) あなたは、聖籠町のスポーツを盛んにするために、どのような取組が必要か

<平成 27 年度…中学生>



<平成 27 年度…一般成人>



□分析

中学生、一般成人のアンケートでは、誰でも参加できる大会やイベントの開催、自由にいくつもの種目ができるものを望んでいます。また、13%の中学生や町民の人が全国で活躍できる選手やチームがでてきてほしいと願っています。ジュニアからトップアスリートまでを視野に入れた強化対策を講じる必要があります。





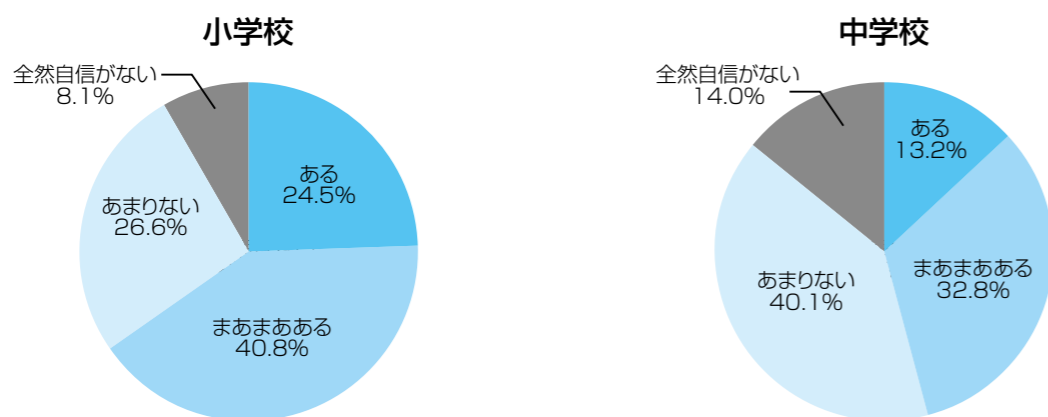
### 3 スポーツに関する調査結果

#### (1) 町民の意識調査結果の概要

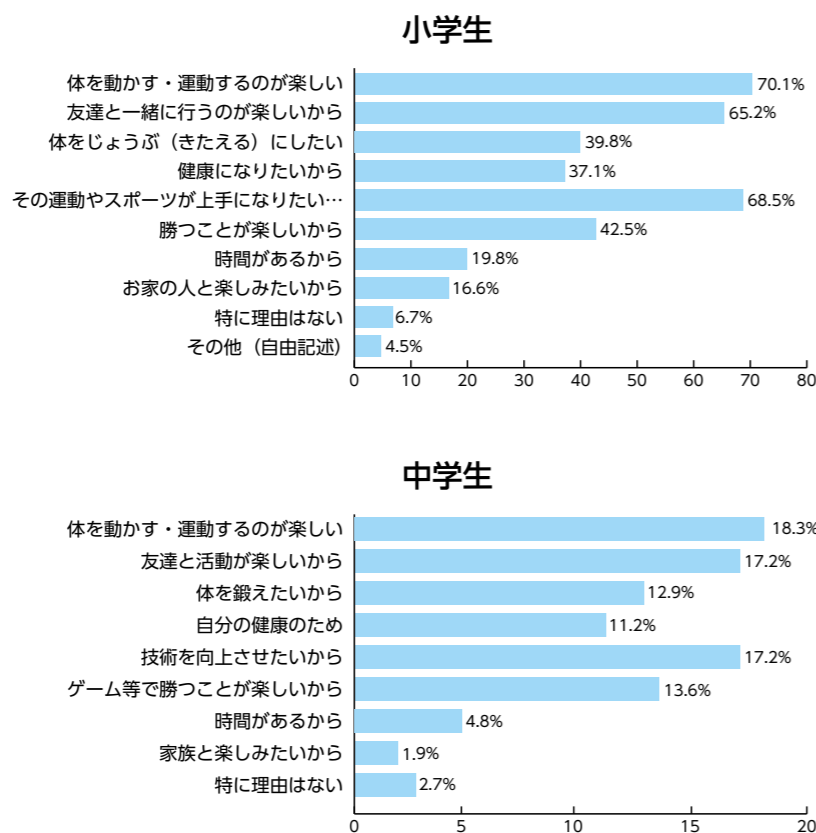
##### ①小・中学生の結果

##### ア 小・中学生のスポーツの実施状況について

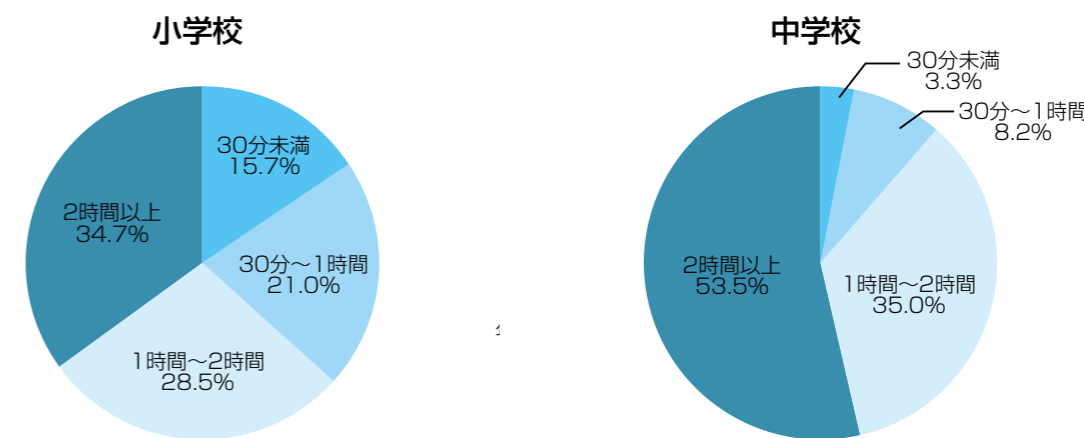
問1 あなたは、自分の体力に自信がありますか。(回答は1つ)



問2 「運動やスポーツを行った理由」(週に1日以上運動を行っている人対象…複数回答可)

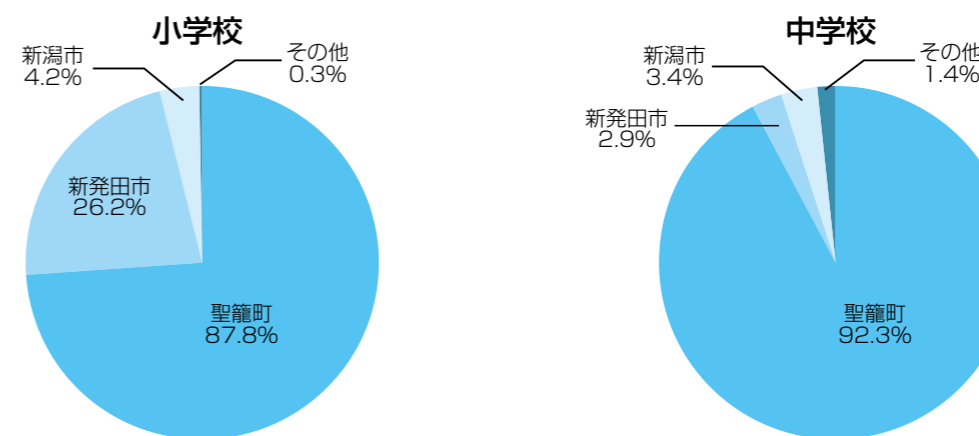


問3 運動やスポーツをするとき、1日どのくらいの時間やりますか。(回答は1つ)



##### イ 今後の聖籠町のスポーツについて

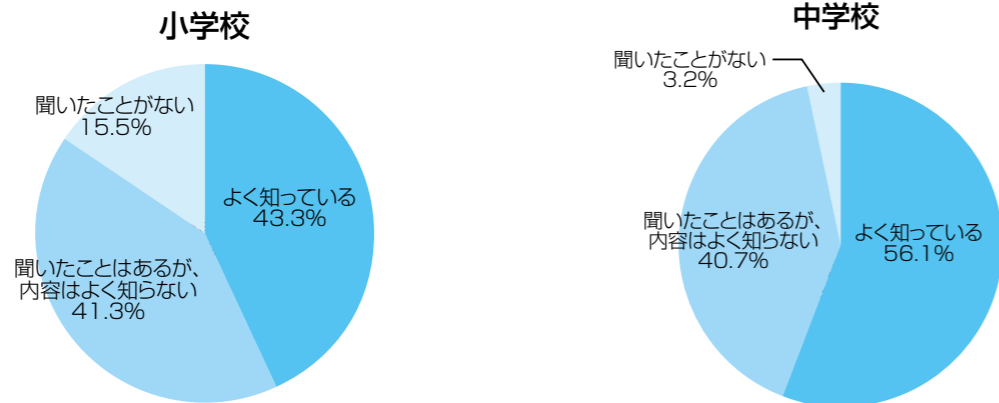
問1 スポーツクラブや教室に「入っている」と答えた人はどこでやっていますか。(複数回答可)



問2 どのような種目のスポーツクラブや教室に入っていますか。(複数回答可)

| 小学生        |       | 中学生        |       |
|------------|-------|------------|-------|
| 野球         | 12.9% | 剣道         | 2.2%  |
| サッカー       | 16.8% | バレー        | 0.5%  |
| バレーボール     | 2.2%  | スキー・スノーボード | 1.7%  |
| ソフトバレー     | 0.2%  | 空手         | 4.0%  |
| テニス        | 6.4%  | 体操         | 1.0%  |
| ミニバスケットボール | 10.1% | ヒップホップ     | 9.9%  |
| バドミントン     | 6.4%  | 陸上         | 7.2%  |
| 水泳         | 11.1% | 柔道         | 1.0%  |
| 卓球         | 2.5%  | その他        | 3.7%  |
|            |       | 軟式野球       | 12.0% |
|            |       | 硬式野球(シニア)  | 3.1%  |
|            |       | 卓球         | 12.3% |
|            |       | バレーボール     | 4.3%  |
|            |       | 柔道         | 4.0%  |
|            |       | サッカー       | 13.0% |
|            |       | 剣道         | 2.2%  |
|            |       | テニス        | 14.5% |
|            |       | バレー        | 1.2%  |
|            |       | バスケットボール   | 9.3%  |
|            |       | バドミントン     | 4.9%  |
|            |       | 陸上         | 16.4% |
|            |       | その他        | 1.9%  |

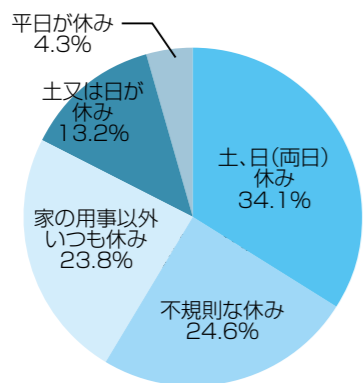
問3 「スポネットせいろう」を知っていますか。(回答は1つ)



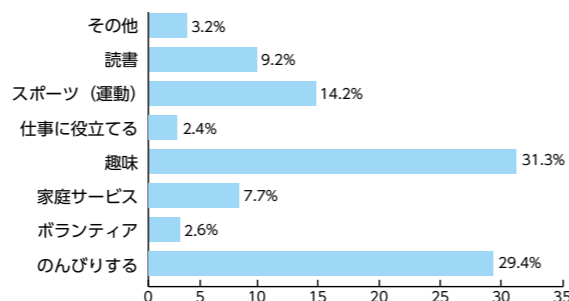
②一般成人(16歳以上)の結果

ア あなた自身のことについて

問1 あなたのお休み(休日)の形態はなんですか。(回答は1つ)

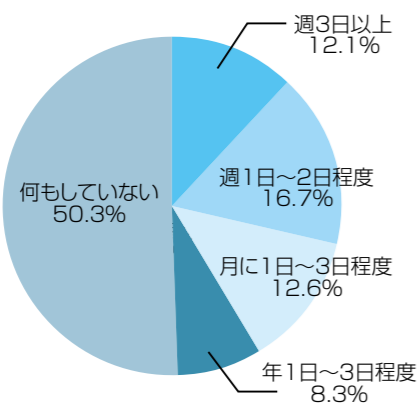


問2 自由に使える時間ができたら、何がしたいですか。(複数回答可)

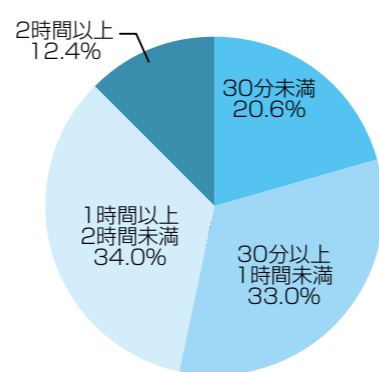


イ 自分の健康や運動・スポーツへの関心等について

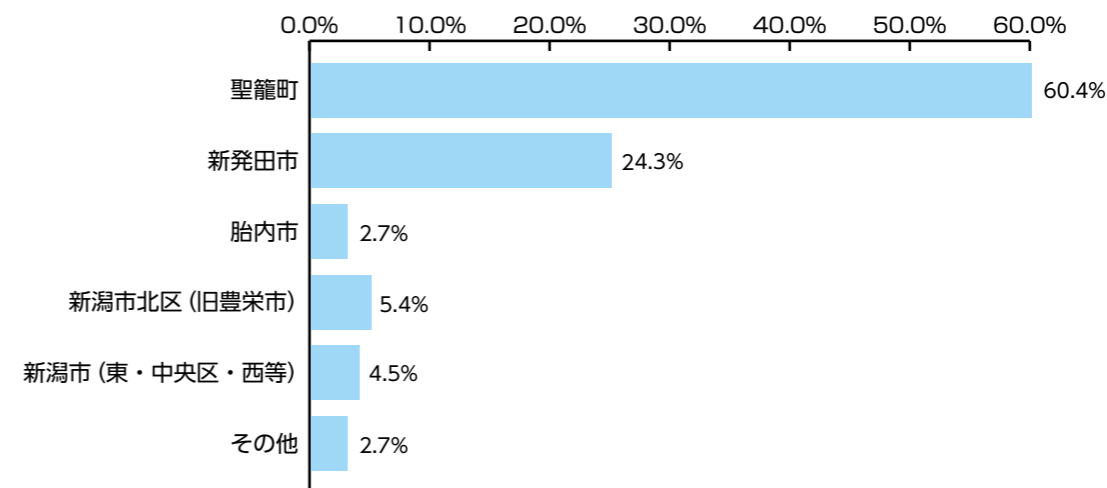
問1 あなたは、この1年間で運動やスポーツをどのくらいしていましたか。(回答は1つ)



問2 運動やスポーツをするとき、1日どのくらいの時間やりますか。(回答は1つ)

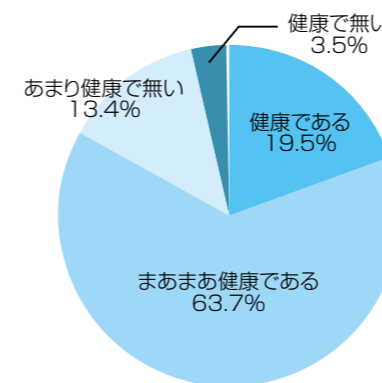


問3 運動やスポーツをよく行った主な活動場所(複数回答可)

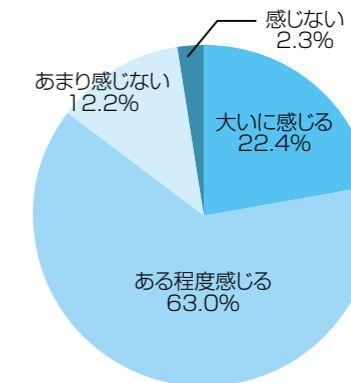


問4 自分の健康や体力についてどう感じているのか。

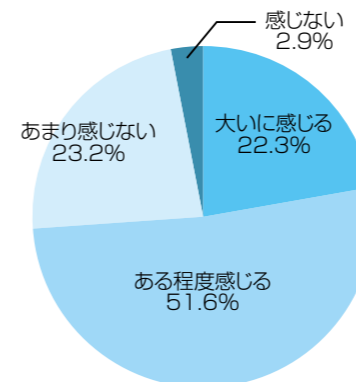
①あなたの最近の健康状態



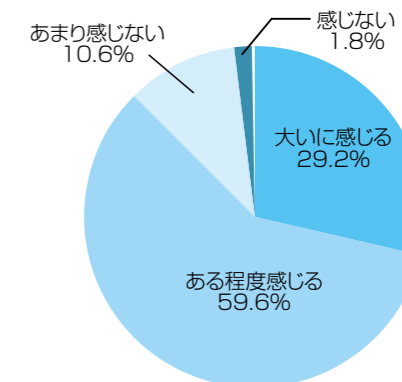
②肉体的疲労について



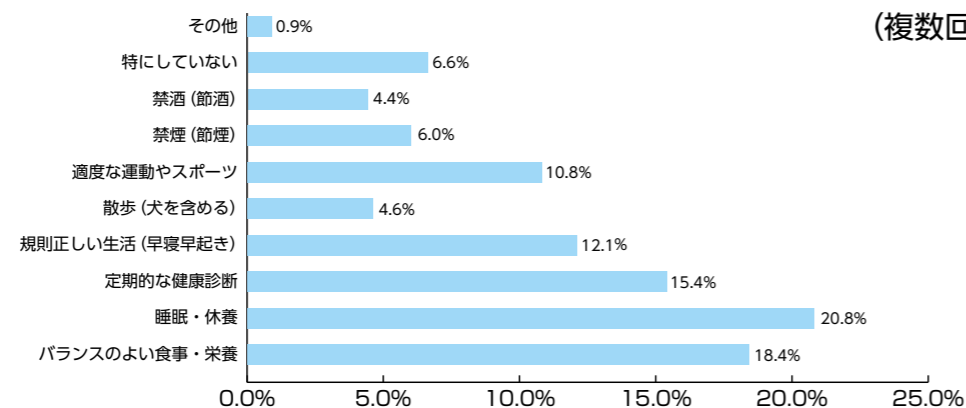
③精神的な疲労やストレス



④体力の衰えは感じていますか。



問5 あなたは、日ごろ自分の体力の維持増進のために心がけていることがありますか。(複数回答可)



問6 どのような運動やスポーツを行っていますか。(複数回答可)

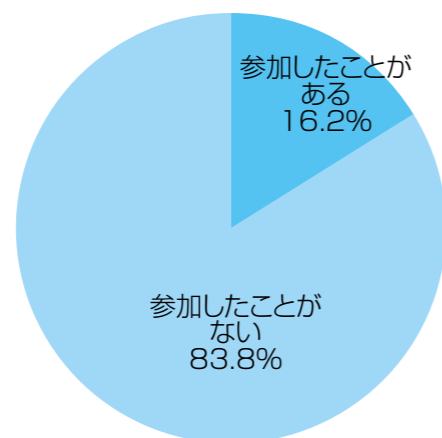
(1) 現在実施している運動やスポーツ

|             |       |           |      |                  |       |
|-------------|-------|-----------|------|------------------|-------|
| ウォーキング      | 13.7% | ゴルフ       | 5.2% | スキー・スノーボード       | 3.2%  |
| 走ること(ジョギング) | 5.7%  | グラウンドゴルフ  | 0.7% | 筋トレ(ダンベル等)       | 5.5%  |
| 陸上(マラソン)    | 1.6%  | ゲートボール    | 0.2% | 海水浴(遊泳)          | 2.1%  |
| 野球          | 2.3%  | ボウリング     | 2.1% | 釣り               | 3.2%  |
| バレーボール      | 1.6%  | 体操・ストレッチ  | 7.7% | キャンプ             | 1.4%  |
| テニス         | 2.3%  | おどり(ダンス)  | 1.1% | 登山・ハイキング         | 3.0%  |
| サッカー        | 0.7%  | サイクリング    | 2.1% | ニュースポーツ(インディアカ等) | 0.0%  |
| バスケットボール    | 1.4%  | 武道(柔・剣道)  | 1.6% | 何もしていない          | 20.0% |
| バドミントン      | 1.6%  | エアロビクス・ヨガ | 2.1% | 今後やってみたいものはない    | 3.2%  |
| 卓球          | 2.7%  | 水泳・アクアビクス | 1.8% | その他              | 0.5%  |

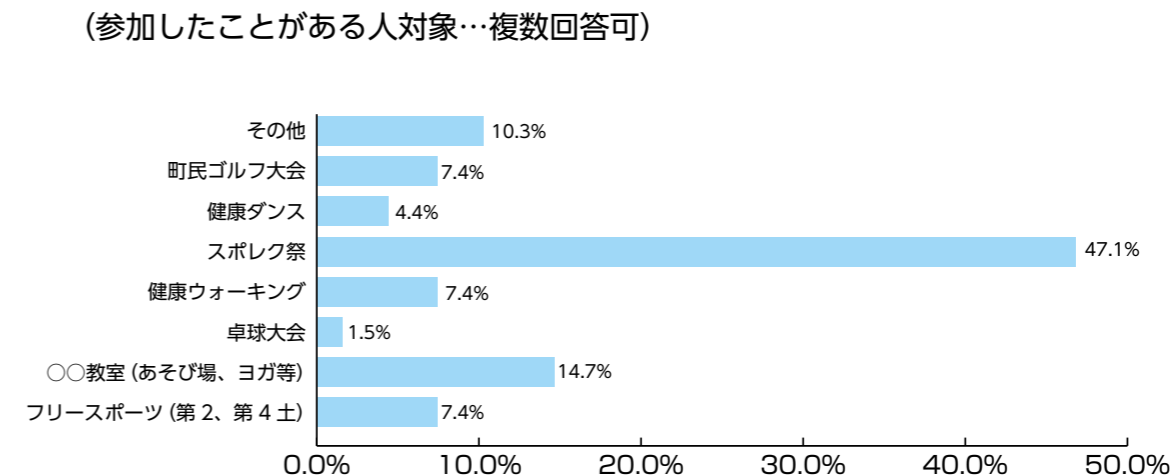
問7 (2) 運動やスポーツをしている種目の理由(目的)(複数回答可)

|                 |       |                 |      |
|-----------------|-------|-----------------|------|
| 健康や体力づくりのため     | 22.6% | 自分の時間を自由に楽しむ    | 5.1% |
| 運動不足を感じるから      | 17.7% | 家族団らんの機会        | 2.3% |
| ストレス解消や気晴らしのため  | 13.4% | 地域の人と交流を深める     | 1.5% |
| 運動やスポーツの楽しさを味わう | 10.0% | 単調な生活リズムに変化を与える | 1.3% |
| 友達との関係、仲間づくり    | 10.5% | 自己の記録や技術の向上     | 3.3% |
| 美容や肥満解消のため      | 6.4%  | 特に理由は無い         | 4.1% |
|                 |       | その他             | 1.5% |

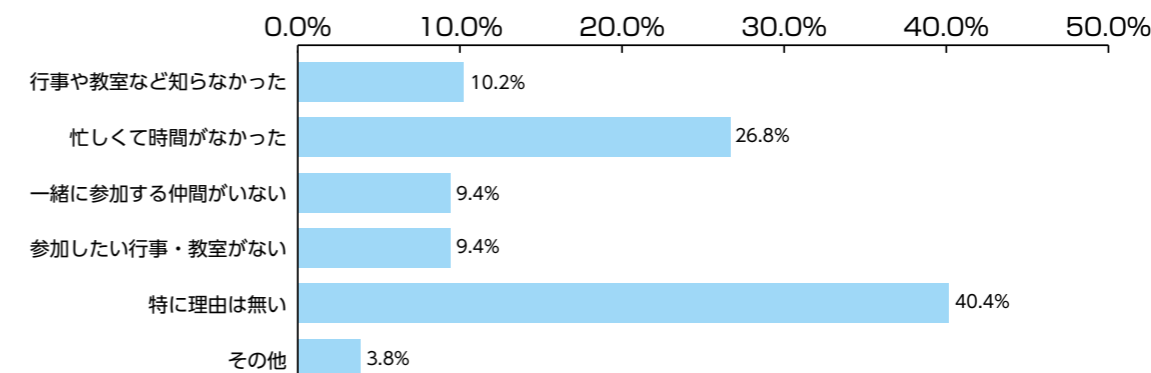
問8 この1年間に町や地域のスポーツ行事に参加したことがあるか。(回答は1つ)



問9 どんなスポーツ行事に参加したことがありますか。(参加したことがある人対象…複数回答可)

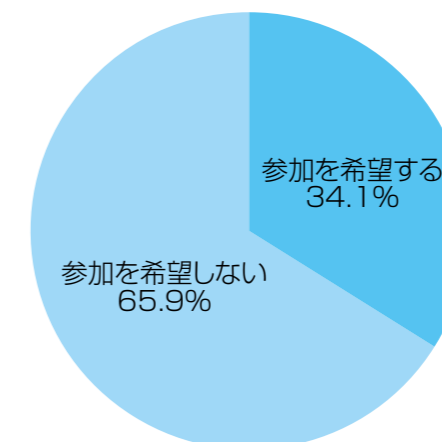


問10 参加したことがない人の理由(複数回答可)



ウ 今後のスポーツ推進について

問1 「だれでもが」「いつでも気軽に」「いろいろな種目(運動)」を行うことができる「スポーツクラブ」があれば参加したいと思いますか。(回答は1つ)





(2) 聖籠町立小・中学校の新体力テストの結果

①小学校

◎は県平均、全国平均のどちらも上回っている。  
○は県か全国のどちらか上回っている。  
▼はどちらも下回っている。

全国・県平均との比較 (男子)

| 学年 | 男子   | 握力      | 上体起こし   | 長座体前屈   | 反復横跳び   | 20mシャトルラン | 50m走    | 立ち幅跳び    | ボール投げ   |
|----|------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|----------|---------|
| 1年 | 聖籠町  | ◎ 9.57  | ◎ 12.30 | ◎ 27.11 | ○ 28.75 | ○ 20.40   | ▼ 11.69 | ▼ 109.21 | ◎ 9.98  |
|    | 県平均  | 9.46    | 11.67   | 26.82   | 28.76   | 22.43     | 11.64   | 115.95   | 8.70    |
|    | 全国平均 | 9.53    | 11.51   | 25.84   | 27.39   | 18.76     | 11.52   | 114.93   | 8.67    |
| 2年 | 聖籠町  | ▼ 11.14 | ▼ 10.53 | ◎ 30.63 | ○ 32.30 | ○ 31.82   | ▼ 10.92 | ▼ 119.58 | ◎ 13.20 |
|    | 県平均  | 11.26   | 14.64   | 29.17   | 33.71   | 34.08     | 10.81   | 128.35   | 12.26   |
|    | 全国平均 | 11.16   | 13.95   | 27.33   | 31.85   | 28.33     | 10.61   | 126.15   | 12.38   |
| 3年 | 聖籠町  | ▼ 11.42 | ○ 16.23 | ◎ 32.23 | ○ 36.31 | ◎ 45.75   | ◎ 10.08 | ▼ 133.28 | ◎ 17.68 |
|    | 県平均  | 13.12   | 16.34   | 30.39   | 36.89   | 41.93     | 10.19   | 137.06   | 15.78   |
|    | 全国平均 | 12.09   | 16.14   | 29.23   | 35.10   | 37.67     | 10.11   | 137.53   | 16.31   |
| 4年 | 聖籠町  | ▼ 14.39 | ▼ 17.27 | ○ 30.59 | ◎ 41.78 | ◎ 55.87   | ◎ 9.36  | ○ 145.37 | ◎ 21.42 |
|    | 県平均  | 15.09   | 18.56   | 32.40   | 41.32   | 50.23     | 9.74    | 145.79   | 19.77   |
|    | 全国平均 | 15.03   | 18.16   | 30.49   | 38.80   | 46.05     | 9.67    | 144.71   | 20.33   |
| 5年 | 聖籠町  | ▼ 16.12 | ▼ 19.33 | ○ 33.88 | ◎ 46.45 | ◎ 61.47   | ○ 9.34  | ○ 154.86 | ◎ 24.60 |
|    | 県平均  | 17.37   | 20.59   | 34.78   | 44.83   | 58.26     | 9.37    | 155.33   | 23.35   |
|    | 全国平均 | 17.36   | 20.09   | 32.66   | 42.97   | 55.33     | 9.26    | 154.70   | 24.45   |
| 6年 | 聖籠町  | ▼ 19.37 | ◎ 24.05 | ○ 35.62 | ○ 47.16 | ◎ 72.16   | ▼ 9.04  | ▼ 163.06 | ◎ 30.49 |
|    | 県平均  | 20.44   | 22.70   | 36.96   | 47.66   | 65.86     | 8.94    | 167.36   | 27.50   |
|    | 全国平均 | 20.04   | 21.69   | 34.08   | 45.79   | 62.62     | 8.90    | 163.72   | 28.41   |

全国・県平均との比較 (女子)

| 学年 | 女子   | 握力      | 上体起こし   | 反復横跳び   | 反復横跳び   | 20mシャトルラン | 50m走    | 立ち幅跳び    | ボール投げ   |
|----|------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|----------|---------|
| 1年 | 聖籠町  | ◎ 9.39  | ◎ 12.06 | ▼ 27.36 | ◎ 28.96 | ◎ 19.86   | ▼ 11.74 | ○ 108.41 | ◎ 6.57  |
|    | 県平均  | 8.83    | 11.39   | 29.53   | 28.17   | 18.84     | 11.90   | 109.71   | 6.03    |
|    | 全国平均 | 8.72    | 10.63   | 28.01   | 26.11   | 15.86     | 11.80   | 107.37   | 5.74    |
| 2年 | 聖籠町  | ◎ 11.29 | ▼ 13.22 | ◎ 32.83 | ◎ 35.11 | ○ 26.59   | ◎ 10.65 | ◎ 122.23 | ◎ 8.19  |
|    | 県平均  | 10.53   | 14.18   | 32.21   | 32.91   | 27.30     | 11.01   | 121.87   | 8.10    |
|    | 全国平均 | 10.35   | 13.30   | 29.85   | 29.96   | 22.14     | 10.93   | 118.24   | 7.64    |
| 3年 | 聖籠町  | ▼ 10.47 | ▼ 15.78 | ◎ 33.19 | ○ 35.69 | ▼ 35.77   | ▼ 10.42 | ▼ 123.05 | ▼ 9.03  |
|    | 県平均  | 13.12   | 16.34   | 30.39   | 36.89   | 41.93     | 10.19   | 137.06   | 15.78   |
|    | 全国平均 | 12.99   | 16.14   | 29.23   | 35.10   | 37.67     | 10.11   | 137.53   | 16.31   |
| 4年 | 聖籠町  | ▼ 13.91 | ▼ 16.43 | ▼ 33.28 | ◎ 40.81 | ◎ 41.21   | ◎ 9.83  | ▼ 136.01 | ◎ 12.67 |
|    | 県平均  | 14.32   | 17.81   | 36.14   | 39.85   | 40.58     | 9.95    | 140.30   | 12.37   |
|    | 全国平均 | 14.11   | 16.69   | 34.29   | 36.51   | 34.40     | 9.98    | 137.03   | 11.92   |
| 5年 | 聖籠町  | ▼ 16.06 | ▼ 18.19 | ○ 38.89 | ◎ 43.29 | ◎ 49.50   | ◎ 9.47  | ○ 147.08 | ▼ 14.09 |
|    | 県平均  | 16.82   | 19.36   | 39.19   | 42.98   | 47.81     | 9.57    | 149.41   | 14.39   |
|    | 全国平均 | 16.55   | 18.55   | 37.25   | 40.69   | 42.79     | 9.55    | 146.52   | 14.37   |
| 6年 | 聖籠町  | ▼ 18.31 | ▼ 19.61 | ○ 40.70 | ◎ 45.57 | ◎ 56.02   | ▼ 9.26  | ▼ 150.71 | ▼ 15.70 |
|    | 県平均  | 19.84   | 20.63   | 41.50   | 45.03   | 52.62     | 9.22    | 157.96   | 16.17   |
|    | 全国平均 | 19.77   | 20.01   | 39.69   | 43.02   | 48.95     | 9.12    | 155.20   | 16.85   |

②中学校

◎は県平均、全国平均を上回っている。  
○は県か全国のどちらか上回っている。  
▼はどちらも下回っている。

全国・県平均との比較 (男子)

| 学年 | 男子   | 握力      | 上体起こし   | 長座体前屈   | 反復横跳び   | 20mシャトルラン | 50m走   | 立ち幅跳び    | ボール投げ   |
|----|------|---------|---------|---------|---------|-----------|--------|----------|---------|
| 1年 | 聖籠町  | ▼ 23.93 | ○ 24.86 | ◎ 44.25 | ◎ 52.07 | ◎ 78.55   | ◎ 8.16 | ◎ 190.97 | ◎ 19.46 |
|    | 県平均  | 25.13   | 24.74   | 42.27   | 49.32   | 74.52     | 8.54   | 185.20   | 18.77   |
|    | 全国平均 | 24.64   | 25.11   | 39.66   | 49.58   | 73.84     | 8.40   | 183.10   | 18.82   |
| 2年 | 聖籠町  | ▼ 29.24 | ▼ 28.22 | ◎ 47.14 | 52.71   | ◎ 93.91   | ◎ 7.62 | ◎ 205.80 | ◎ 22.86 |
|    | 県平均  | 30.88   | 28.47   | 46.40   | 52.71   | 88.33     | 7.98   | 202.78   | 21.94   |
|    | 全国平均 | 29.93   | 28.67   | 43.41   | 53.33   | 90.07     | 7.85   | 200.13   | 21.88   |
| 3年 | 聖籠町  | ▼ 33.28 | 30.77   | ▼ 46.92 | ▼ 51.83 | ▼ 86.99   | ◎ 7.39 | ◎ 218.15 | ▼ 23.71 |
|    | 県平均  | 36.04   | ○ 30.50 | 49.39   | 54.70   | 94.25     | 7.58   | 215.50   | 24.42   |
|    | 全国平均 | 35.70   | 30.78   | 47.90   | 55.64   | 96.84     | 7.44   | 214.56   | 24.76   |

全国・県平均との比較 (女子)

| 学年 | 女子   | 握力      | 上体起こし   | 長座体前屈   | 反復横跳び   | 20mシャトルラン | 50m走   | 立ち幅跳び    | ボール投げ   |
|----|------|---------|---------|---------|---------|-----------|--------|----------|---------|
| 1年 | 聖籠町  | ▼ 20.18 | ▼ 18.66 | ○ 45.23 | ▼ 44.22 | ○ 55.09   | ◎ 8.78 | ○ 166.75 | ▼ 11.48 |
|    | 県平均  | 22.25   | 21.13   | 45.28   | 45.18   | 55.48     | 9.05   | 167.15   | 11.54   |
|    | 全国平均 | 21.93   | 21.00   | 43.17   | 44.88   | 52.62     | 8.96   | 165.54   | 12.24   |
| 2年 | 聖籠町  | ▼ 21.94 | ▼ 20.94 | ▼ 44.56 | ◎ 48.21 | ◎ 61.42   | ◎ 8.58 | ◎ 175.63 | ▼ 12.64 |
|    | 県平均  | 24.49   | 24.00   | 47.86   | 46.42   | 60.57     | 8.83   | 172.58   | 13.15   |
|    | 全国平均 | 24.35   | 23.45   | 45.10   | 46.51   | 59.73     | 8.75   | 169.81   | 13.76   |
| 3年 | 聖籠町  | ▼ 24.20 | ▼ 22.83 | ○ 47.57 | ▼ 42.93 | ▼ 52.50   | ◎ 8.37 | ◎ 179.88 | ▼ 13.30 |
|    | 県平均  | 25.72   | 24.58   | 49.35   | 46.55   | 58.66     | 8.79   | 172.72   | 13.77   |
|    | 全国平均 | 25.48   | 24.60   | 47.46   | 47.18   | 62.43     | 8.60   | 174.04   | 14.70   |

## 4 聖籠町生涯スポーツ推進計画策定組織と経過

### (1) 生涯スポーツ推進計画策定委員会

本計画は、聖籠町生涯スポーツ推進計画策定委員会に諮問し答申を受け策定しました。

(敬称略)

| No | 氏名      | 所属・役職           | 備考    |
|----|---------|-----------------|-------|
| 1  | ◎水戸部 照夫 | 聖籠町スポーツ推進委員委員長  | 第1号委員 |
| 2  | ○小林 八重子 | 聖籠町スポーツ推進委員副委員長 | 第1号委員 |
| 3  | 小林 勇次   | 聖籠町スポーツ推進委員     | 第1号委員 |
| 4  | 中村 耕次   | 聖籠町スポーツ推進委員     | 第1号委員 |
| 5  | 肥田野 篤史  | 聖籠町スポーツ推進委員     | 第1号委員 |
| 6  | 佐久間 達也  | スポネットせいらう事務局次長  | 第2号委員 |
| 7  | 本田 恵    | 聖籠町社会福祉協議会      | 第3号委員 |
| 8  | 渡辺 郁子   | 聖籠町保健福祉課係長保健師   | 第3号委員 |
| 9  | 阿部 郁夫   | 一般(公募)          | 第4号委員 |
| 10 | 中野 隆一   | 聖籠町立山倉小学校教頭     | 第5号委員 |

任期：平成27年5月8日から平成28年3月31日まで（1年間）

◎は聖籠町生涯スポーツ推進計画策定委員会委員長

○は聖籠町生涯スポーツ推進計画策定委員会副委員長

※第1号委員 スポーツ推進委員

第2号委員 総合型地域スポーツクラブの職員

第3号委員 福祉関係機関・団体の職員

第4号委員 一般町民

第5号委員 前4号委員に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認めた者

※事務局

社会教育課長 渡辺 佳津志

社会教育課長補佐 高橋 誠司

社会教育課スポーツ振興係長 神田 和典

スポネットせいらう事務員 岩田 一郎

### (2) 会議経過

|          |  |
|----------|--|
| 平成27年 5月 | ・町教育委員会から町生涯スポーツ推進計画策定委員会に生涯スポーツ推進計画を諮問<br>・生涯スポーツ推進計画策定計画の策定方針の説明<br>・町民の運動やスポーツに関する意識調査の検討 |
| 6月       | ・前計画の検証を踏まえ、素案を提案し、今回策定の基本項目の確認・審議<br>・町民アンケート調査の内容及び回収方法の検討                                 |
| 7月       | ・素案を作成し、基本項目の審議  |
| 8月       | ・町民アンケート調査回収結果の分析<br>・各検討項目について、具体的内容の審議（分科会）  |
| 10月      | ・原案の審議   |
| 11月      | ・原案の審議   |
| 12月      | ・原案の審議<br>・写真の選定作業   |
| 平成28年 1月 | ・パブリックコメントの実施  |
| 2月       | ・本案について最終審議  |
| 3月       | ・町教育委員会へ答申<br>・町教育委員会審議<br>・町教育委員会原案可決   |

## 5 その他

### (1) 聖籠町体育施設一覧表

|   |                             |
|---|-----------------------------|
| 聖籠町総合体育館<br>・アリーナ<br>・柔剣道場<br>・ランニングコース<br>・トレーニングルーム | 聖籠町民プール                     |
|   | 聖籠町民会館前テニスコート               |
|   | 聖籠町役場前テニスコート                |
| 聖籠町藤寄体育館  | 聖籠町スポアイランド聖籠                |
| 聖籠町亀代地区多目的屋内運動場<br>・運動場                               | 聖籠町亀代地区公民館<br>・小体育室         |
|   | 聖籠町立聖籠中学校<br>・体育館           |
| 聖籠町蓮野地区多目的屋内運動場<br>・運動場<br>・小体育室                      | ・武道場<br>・グラウンド              |
|   | 聖籠町立蓮野小学校<br>・体育館<br>・グラウンド |
| 聖籠町山倉地区多目的屋内運動場<br>・運動場<br>・小体育室                      | 聖籠町立山倉小学校<br>・体育館<br>・グラウンド |
|   | 聖籠町立山倉小学校<br>・体育館<br>・グラウンド |
| 聖籠町野球場  |                             |
| 聖籠町次第浜野球場   | 聖籠町立亀代小学校<br>・体育館<br>・グラウンド |

## (2) 聖籠町加盟団体・サークル・スポーツ少年団一覧表

平成 28. 3.31 現在

| 団体名              | 種目                | 団体名                | 種目       | 団体名               | 種目       |
|------------------|-------------------|--------------------|----------|-------------------|----------|
| 亀代ベースボールクラブ      | スポーツ少年団<br>野球     | A C E              | バスケットボール | 亀代地区グラウンドゴルフ愛好会   | グラウンドゴルフ |
| 山小ストロングス・スポーツ少年団 | スポーツ少年団<br>野球     | Team Minami        | バスケットボール | 蓮野地区グラウンドゴルフ愛好会   | グラウンドゴルフ |
| 蓮野小学校野球スポーツ少年団   | スポーツ少年団<br>野球     | V.Loud             | バスケットボール | 山倉地区グラウンドゴルフ愛好会   | グラウンドゴルフ |
| F C 聖籠           | スポーツ少年団<br>サッカー   | リンコーコーポレーションバスケット部 | バスケットボール | 聖籠町ゲートボール愛好会      | ゲートボール   |
| S V C            | スポーツ少年団<br>バレーボール | 笑軍                 | バスケットボール | ディスカバリー           | サッカー     |
| 聖籠 Bluebirds     | スポーツ少年団<br>ミニバス男子 | 男子聖籠中ハーティーズ        | バスケットボール | 新潟トランスス(株)サッカー部   | サッカー     |
| 聖籠 WINGS         | スポーツ少年団<br>ミニバス女子 | ミニスポレディース          | バドミントン   | F C . アウローラ       | サッカー     |
| 聖籠町柔道スポーツ少年団     | スポーツ少年団<br>柔道     | ふくろう               | バドミントン   | FC 聖籠 Famille     | サッカー     |
| 聖籠町剣道クラブ         | スポーツ少年団<br>剣道     | 聖籠シニア卓球愛好会 (山倉地区)  | 卓球       | 聖籠町役場サッカー部        | サッカー     |
| 日本空手道玄聖会         | スポーツ少年団<br>空手     | 聖籠シニア卓球愛好会 (蓮野地区)  | 卓球       | 荒波キッカーズ           | サッカー     |
| 聖空塾              | スポーツ少年団<br>空手     | 聖籠シニア卓球愛好会 (亀代地区)  | 卓球       | F C 聖籠 O 30       | サッカー     |
| 理心館              | 空手                | 卓友会                | 卓球       | S F C             | サッカー     |
| 剣士会              | 剣道                | 聖籠ジュニア卓球クラブ        | 卓球       | ストロング             | 野球       |
| レディース・スポーツクラブ    | エアロビクス            | はまなす               | バレーボール   | 聖籠町役場野球部          | 野球       |
| 聖籠町 J F C        | フェンシング            | わかば                | バレーボール   | ワールドウィン           | 野球       |
| 聖籠町バウンドテニスクラブ    | バウンドテニス           | 木曜会                | バレーボール   | グローバルウェーブズジャパン野球部 | 野球       |
| 聖籠町ソフトテニスクラブ     | ソフトテニス            | 役場バレー部             | バレーボール   | H E R O           | 野球       |
| 聖籠ジュニアソフトテニスクラブ  | ソフトテニス            | はまなすビーチボールクラブ      | ビーチボール   | 二本松サンデーズ          | 野球       |
| 聖中ソフトテニス部        | ソフトテニス            | ビーチボールクラブ聖籠        | ビーチボール   | スピリッツ             | 野球       |
| 聖籠テニスクラブ         | 硬式テニス             | 藤寄ビーチボールメイツ        | ビーチボール   | 菊乃華               | 野球       |
| 新潟トランスス(株)テニス部   | 硬式テニス             | 聖籠町ソフトバレー愛好会二本松    | ソフトバレー   | ホワイトウェーブ          | 野球       |
|                  |                   |                    |          | 聖籠 J H B C        | 野球       |





## 聖籠町生涯スポーツ推進計画

平成28年3月  
聖籠町教育委員会

事務局：聖籠町教育委員会社会教育課